SONY

3-059-592-**05** (1)

# デジタルビデオカメラレコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

# 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital Handycam

# DCR-TRV20

© 2000 Sony Corporation

# 目次



## 必ずお読みください

**お使いになる前に**

**別売りのアクセサリーキットについて**
本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。
お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

**CM カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします**
本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

**カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能**
　エンドサーチ（19、22ページ）
　「撮影日で頭出しする－日付サーチ」（45ページ）
　フォトサーチ（47ページ）

**カセットメモリー付きカセットでのみできる機能**
　「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（43ページ）
　「タイトルを入れる」（74ページ）
　「オリジナルタイトルを作る」（77ページ）
　「カセットになまえを付ける－カセットラベル」（79ページ）
詳しくは122ページをご覧ください。

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはCMマークが付いています。

**ためし撮り**
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

**録画内容の補償はできません。**
万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

**著作権について**
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

**液晶画面、ファインダーおよびレンズについて**
液晶画面やカラーファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません（有効画素99.99%以上）。これらの点は、テープに記録されません。液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

**本書内の写真について**
液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

**カール ツァイスレンズ搭載**
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ　カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

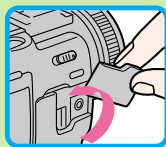
* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）/Factor（ファクター）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

# とにかく撮って見る

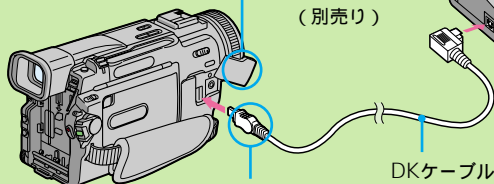
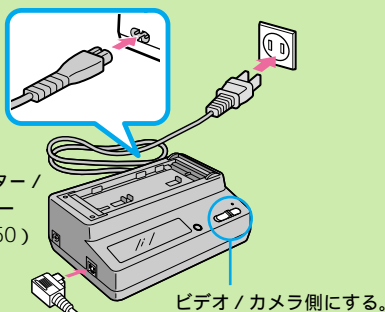
**ここでは本機の使い方を簡単に説明します。**
**詳しくは（　）内のページをご覧ください。**

## 1 電源をつなぐ（9ページ）

屋外ではバッテリーを使います →8ページ

DC IN端子
カバーを開ける。

ACアダプター／
チャージャー
（AC-VQ850）
（別売り）

ビデオ／カメラ側にする。

DKケーブル

▲マークをレンズ側にする。

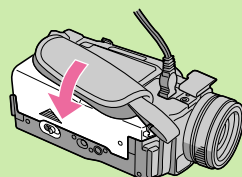
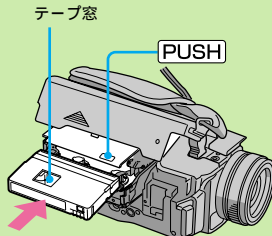
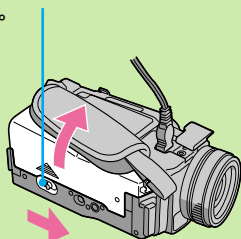
## 2 カセットを入れる（10ページ）

**❶ 開く／カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。**

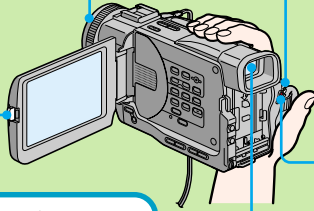
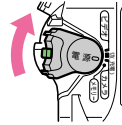
**❷ カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。**

テープ窓

PUSH

**❹ カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。**

**❸ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。**

## 3 撮影する（11ページ）

❶ レンズキャップをはずす。

❷ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

❸ OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。
液晶画面に画像が見える。

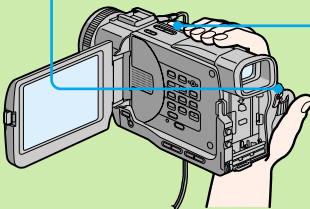
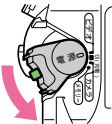
**ファインダー**
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。

❹ スタート／ストップボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

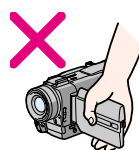
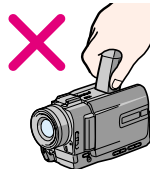
## 4 液晶画面で見る（20ページ）

❶ 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。

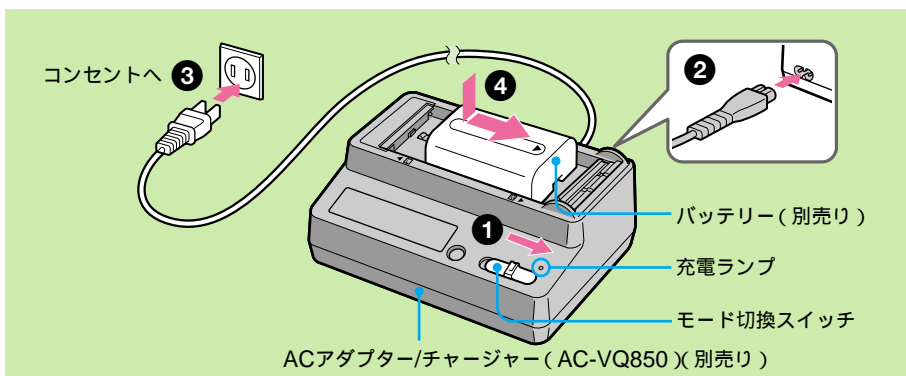
❷ ◀◀を押してテープを巻き戻す。

巻戻し⏪
◀◀

❸ ►を押すとテープが再生される。

**ご注意**

**ファインダーや液晶画面をつかんで、本機を持ち上げないでください。**

# 準備1 電源を準備する

## バッテリーを充電する

ACアダプター／チャージャー（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
バッテリーは充電してからお使いください。
本機の電源には、別売の“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

**ご注意**

- 充電する場合はACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを充電側にしてください。ビデオ/カメラ側にしていると充電できません。
- バッテリーは水にぬらさないでください。
- バッテリーを長期間使用しないときは、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから、涼しい場所で保管してください。

**バッテリーの充電が終わったら**
バッテリーをACアダプター／チャージャーから取りはずしてください。

**❶ モード切換スイッチを「充電」にする。**

**❷ 電源コードをつなぐ。**

**❸ コンセントにつなぐ。**

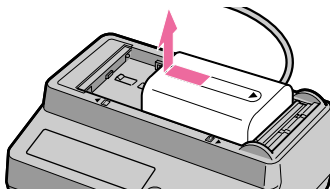
**❹ バッテリーを押しながら矢印の方向にずらして取り付ける。**

充電が始まると、充電ランプが点灯する。
充電が終わると、表示窓のバッテリーマークがすべて点灯する「▰▰▰」**（実用充電）**。さらに充電ランプが消え、バッテリーマーク「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使える**（満充電）**。

**ACアダプター／チャージャーの使用可能時間表示は**
ファインダーを使って撮影するときの使用可能時間です。本機の残量時間表示と多少異なる場合がありますが、故障ではありません。

**InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは**
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーMシリーズには InfoLITHIUM M SERIES マークがついています。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

**海外でも充電できます**
詳しくは137ページをご覧ください。

**5 充電終了後、バッテリーをACアダプター/チャージャーから取りはずす。**

## 充電時間

| バッテリー | 満充電時間（実用充電時間） |
|---|---|
| NP-FM50 | 105（45） |
| NP-FM70 | 150（90） |
| NP-FM90 | 195（135） |
| NP-FM91 | 205（145） |

使い切ったバッテリーを充電したときの時間（約　分）。

## 撮影時間

| バッテリー | ファインダーで撮影 | | 液晶画面で撮影 | |
|---|---|---|---|---|
| | 連続撮影時* | 実撮影時** | 連続撮影時* | 実撮影時** |
| NP-FM50 | 135（120） | 80（70） | 105（95） | 60（55） |
| NP-FM70 | 275（250） | 165（150） | 225（205） | 135（120） |
| NP-FM90 | 425（380） | 255（225） | 345（310） | 205（185） |
| NP-FM91 | 490（440） | 290（260） | 400（360） | 240（215） |

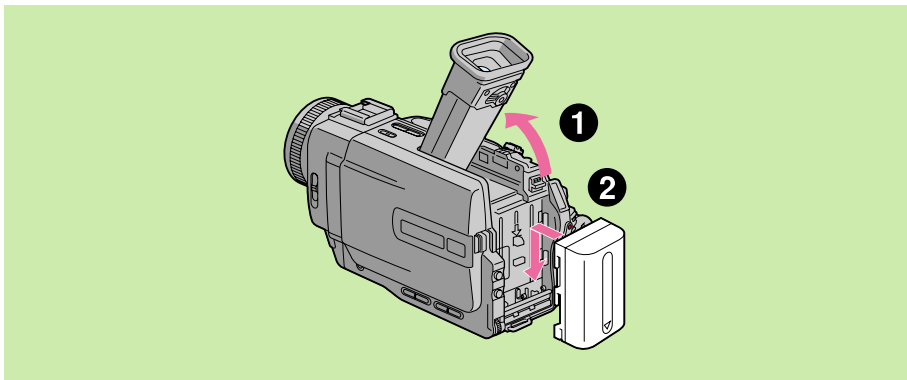
満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。
** 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

## 再生時間

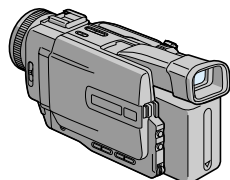
| バッテリー | 液晶画面で再生 | 液晶画面を閉じて再生 |
|---|---|---|
| NP-FM50 | 125（110） | 160（145） |
| NP-FM70 | 265（235） | 335（300） |
| NP-FM90 | 400（360） | 505（455） |
| NP-FM91 | 465（415） | 585（525） |

満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
低温では使用時間が短くなります。

## バッテリーを取り付ける

本機を屋外で使用するときは、バッテリーを取り付けます。

**バッテリーを取り付けた後は**
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

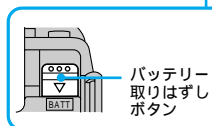
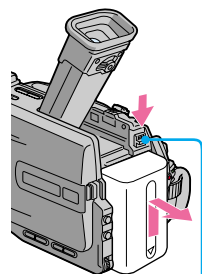
**撮影中のバッテリー残量時間表示**
連続撮影時間の目安を液晶画面、またはファインダーに表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

**容量の大きいバッテリーを使用するときは**
容量の大きいバッテリー（NP-FM70/FM90/FM91）をご使用のときはファインダーを伸ばしてご使用ください。持ち上げるときや元の位置に戻すときは指をはさまないようにご注意ください。

**❶ ファインダーを上げる。**

**❷ バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで下へずらす。**

### 本体から取りはずす

1 **ファインダーを上げる。**

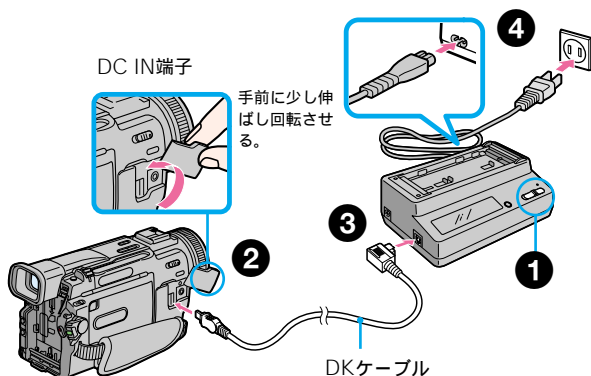
2 **バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。**

## コンセントにつないで使う

**ご注意**

- コンセントにつないで使う場合は、ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチをカメラ／ビデオ側にしてください。充電側にしていると電源は供給されません。
- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

**自動車の電源では**

ACアダプター／チャージャーAC-VQ850をお持ちの場合は、別売りのカーバッテリーコードをお使いください。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

❶ **ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」側にする。**

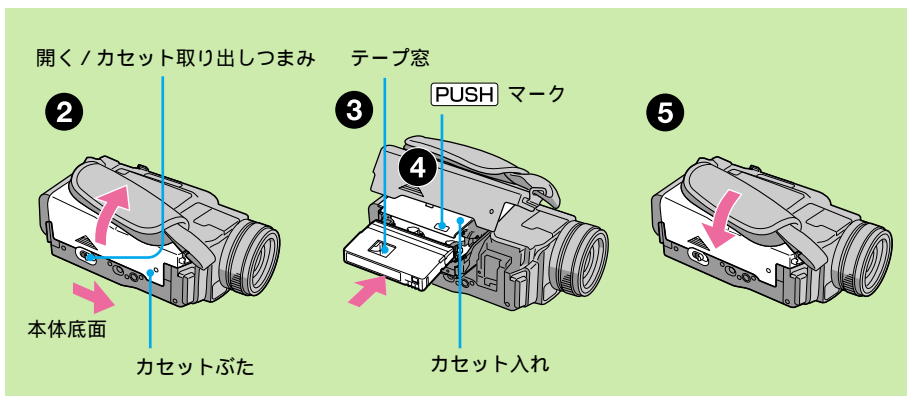
❷ **DKケーブルを本機のDC IN端子につなぐ。**

DC IN端子カバーを開け、DKケーブルのプラグの▲マークをレンズ側にしてつなぐ。

❸ **DKケーブルをACアダプター／チャージャーにつなぐ。**

❹ **電源コードをACアダプター／チャージャーとコンセントにつなぐ。**

準備

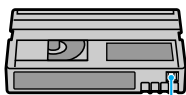
# 準備2 カセットを入れる

**ご注意**

カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。PUSH マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。

**カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のとき**

カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために122ページをご覧ください。

**間違って消さないために**

カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

**1 バッテリーまたはACアダプター/チャージャーをつなぐ。**

ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチは「ビデオ/カメラ」にする。

**2 開く／カセット取り出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。**

カセット入れが自動的に出て開く。

**3 カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。**

テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押し込む。

**4 PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。**

カセット入れが自動的に引き込まれる。

**5 カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。**

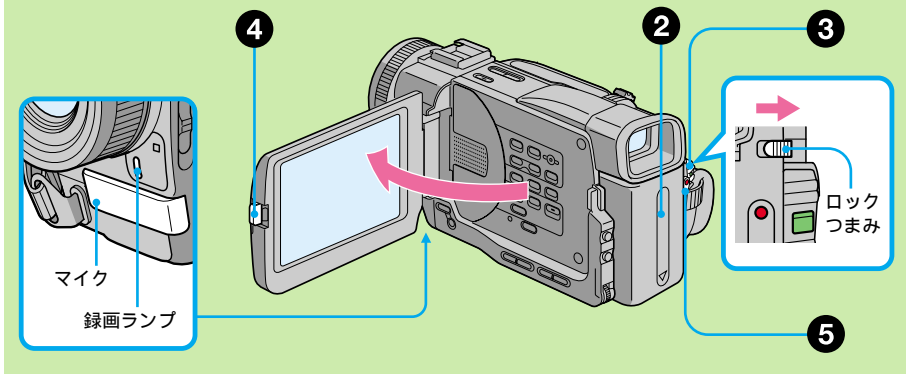
## カセットを取り出す

**「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。**

# 撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

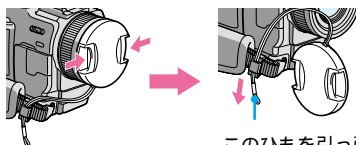
撮る

**ご注意**

グリップベルトをしっかりしめてください。

**長時間録画したいときは**
メニューの「録画モード」を「LP」にします（81ページ）。録画時間がSP（標準）モードの1.5倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

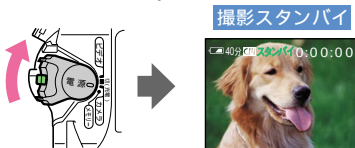
**きれいなつなぎ撮りのために**
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はきれいにつながります。また、以下の点にご注意ください。
- 同じテープにSPモードで撮影した映像とLPモードで撮影した映像を混在させない。
- バッテリーの交換は電源スイッチを「切（充電）」にしてから行う。
- カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後でもエンドサーチ（19ページ）を使うと、きれいにつながります。

## 1 レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

## 2 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1、2」（6～10ページ）をご覧ください。

## 3 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

撮影スタンバイ

**ロックつまみについて**
ロックつまみを右側（ロック）にすると、気付かないうちに電源スイッチが「メモリー」になるのを防ぎます。（お買い上げ時は左側（解除）になっています。）

**撮影スタンバイが5分以上続くと**
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを１度「切（充電）」にしてから、「カメラ」に戻します。

**次のようなときは**
つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。
- テープの途中で録画モード（SP/LP）を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

**ご注意**

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

**液晶画面は**
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでのご使用をおすすめします。

**対面撮影では**
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

**対面撮影中は**
リモコンのゼロセットメモリーボタンは働きません。

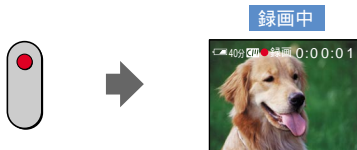
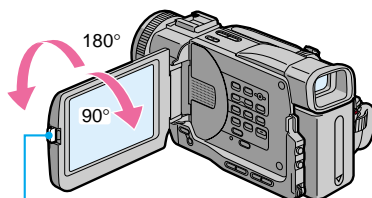
**対面撮影中の表示**
撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

**❹ OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。**

ファインダーの画像は消える。

**❺ スタート/ストップボタンを押す。**

撮影が始まる。録画ランプが点灯する。
もう一度押すと止まる。

録画中

## 液晶画面を調整する

**押しながら液晶画面を開く**

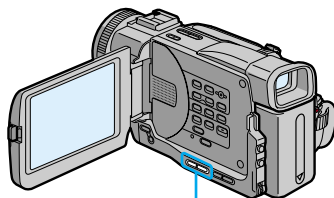
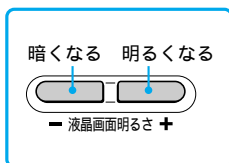
液晶画面は90°まで開きます。また、レンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。撮影スタンバイ中に液晶画面を180°回転させると、ファインダー内と液晶画面に☺が出ます。（**対面撮影モード**）

液晶画面を閉じるときは、液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻します。

**液晶バックライトの明るさは**
メニューの「パネルバックライト」で変えることができます（81ページ）。

**画面の明るさ／液晶バックライトは**
調節しても記録される画像に変化はありません。

## 液晶画面の明るさを調節する

液晶画面の明るさは、液晶画面の明るさボタンを押して調節します。

## 撮影が終わったら

1 **電源スイッチを「切（充電）」にする。**

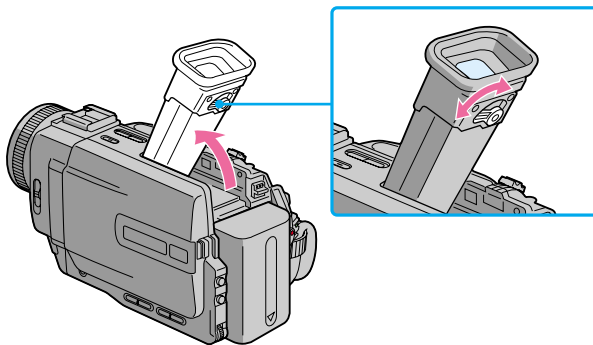
2 **液晶画面を閉じる。**

3 **カセットを取り出す。**

**ファインダーバックライトの明るさは**
メニューの「ファインダー」で変えることができます（81ページ）。

## ファインダーの視度を調節する

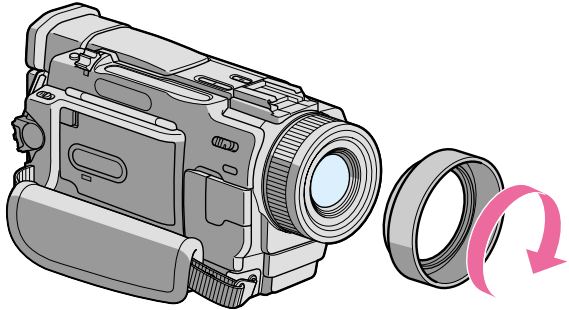
液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調節します。

**ファインダーを上げて、視度調節つまみを動かす。**

**ご注意**

- ワイヤレスリモコンをご使用になる場合、リモコン操作する位置によってはレンズフードがリモコンの赤外線をさえぎり、リモコンで操作できなくなることがあります。このようなときはレンズフードを取りはずしてお使いください。
- レンズフードの上からフィルターなどを取り付けることはできません。

**別売りのフィルターなどを使用しているときは**
画像の四隅にフードの影が映る（ケラレが出る）ことがあります。

## 付属のレンズフードを取り付ける

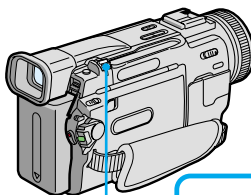
晴れた日の屋外など、強い光源のあるところではレンズフードを取り付けることをおすすめします。

レンズフードの上からでもレンズキャップをつけることができます。

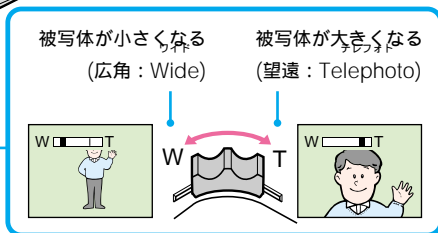
**近くのものにピントがうまく合わないときは**
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

**デジタルズームについて**
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は20倍または120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。
- 電源スイッチを「メモリー」にすると、デジタルズームは使えません。

**タイムコードについて**
液晶画面またはファインダー内にテープ走行時間が「0:00:00」(時:分:秒)と出ます。ビデオモードのときには「0:00:00:00」(時:分:秒:フレーム)と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。

**テープの残量表示について**
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

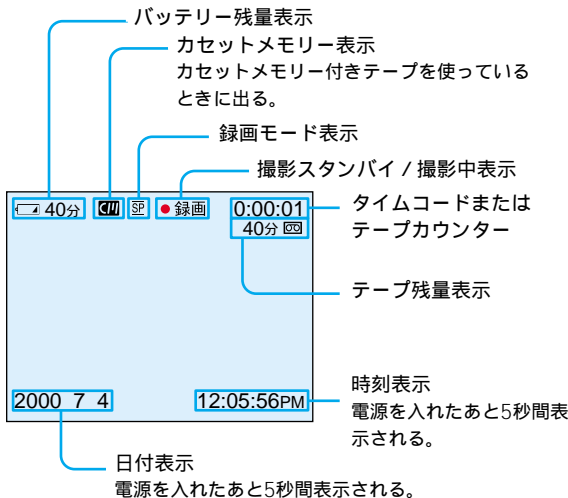
**撮影日時は**
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時にデータコードボタンを押せば見ることができます。

## ズームする

### ズームレバーを動かす。

**10倍を超えるズームをするには**
メニューで「デジタルズーム」を「20×」または「120×」にします(81ページ)。

このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」を「20×」または「120×」にすると表示されます。

## 撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

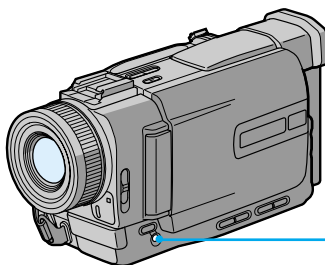
撮る

## 逆光補正をする

**逆光補正中に明るさボタンを押すと**
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

[撮影中]、[撮影スタンバイ中]または[メモリーモード中]に

**逆光補正ボタンを押す。**

液晶画面またはファインダー内に逆光補正表示が出ます。逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

## 暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）

**ご注意**

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくいときは、マニュアルフォーカスをご使用ください。

**NIGHTSHOT中は以下の操作ができません**
- 明るさ調節
- プログラムAE
- ホワイトバランス

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影できます。

[撮影中]、[撮影スタンバイ中]または[メモリーモード中]に

**NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。**

液晶画面またはファインダー内にNIGHTSHOT表示と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

## SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）を使う

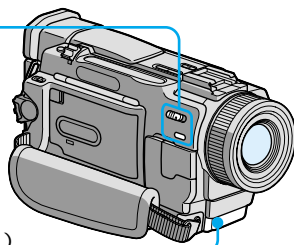
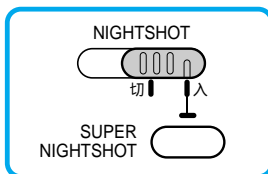
SUPER NIGHTSHOTボタンを使うと、NIGHTSHOTの最大16倍の感度で被写体を明るく撮影できます。

**❶ ［撮影中］または［撮影スタンバイ中］にNIGHTSHOTスイッチを「入」にする。**

液晶画面またはファインダー内に◉表示が出ます。

**❷ SUPER NIGHTSHOTボタンを押す。**

液晶画面またはファインダー内にS◉表示と“ SUPER NIGHTSHOT ”表示が出ます。

**SUPER NIGHTSHOTボタンをもう一度押すと解除されます。**

**SUPER NIGHTSHOT時のシャッタースピードは**
明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

**SUPER NIGHTSHOT中は以下の操作ができません**
- フェーダー
- デジタルエフェクト
- プログラムAE
- 明るさ調節
- メモリーモード

## NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。（81ページ）

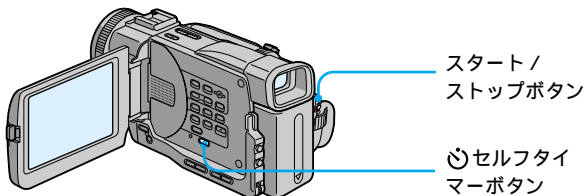
**NIGHTSHOTライトは**
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

撮る

## セルフタイマー録画

**ご注意**

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー録画を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」か「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。自分を撮影したいときなどに使用してください。

**1** ［撮影スタンバイ中］に
**セルフタイマーボタンを押す。**

セルフタイマー表示が出る。

**2** **スタート／ストップボタンを押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まる。

### 秒読み中に撮影を止めるとき

スタート／ストップボタンをもう1度押す。リモコンを使うと便利です。

### セルフタイマーで静止画を撮るとき

手順2でフォトボタンを押す。（26ページ）

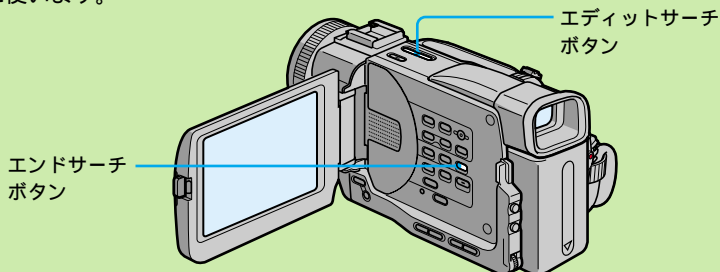
### セルフタイマーで、“メモリースティック”に静止画を撮るとき

メモリーモード中にセルフタイマーボタンを押し、続いてフォトボタンを押す。（99ページ）

### セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度セルフタイマーボタンを押して、セルフタイマー表示を消す。

# 次の撮影開始点を探す
## －エンドサーチ／エディットサーチ／レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

**エンドサーチは**
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチは働きます。ただし、テープの冒頭や途中に一度無記録部分を作ると正しく動作しないことがあります。（122ページ）

### エンドサーチ

最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

［撮影スタンバイ中］に
**エンドサーチボタンを押す。**

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

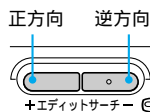
### エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

［撮影スタンバイ中］に
**エディットサーチ＋／－⊡ボタンを押し続ける。 画像が再生される。**

**＋：場面を進める**

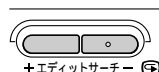
**－⊡：場面を戻す**

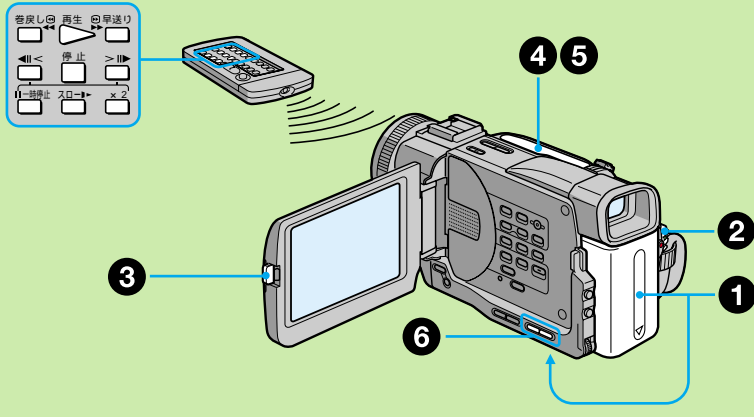
指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

### レックレビュー

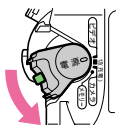
最後の場面を確認します。

［撮影スタンバイ中］に
**エディットサーチボタンの－⊡側をポンと1回押す。**

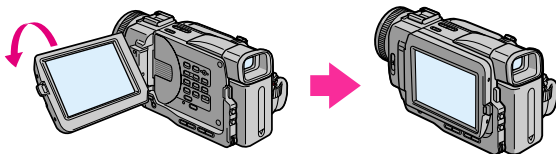
テープを停止させた部分が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

撮る

# 再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

❶ **バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。**

❷ **緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。**

ビデオ操作ボタンが点灯する。

❸ **液晶画面を開ける。**

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180°回転させる。　閉じる。

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**

巻き戻しが始まる。

## 5 ►再生ボタンを押す。

画像が映る。

## 6 音量ボタンを押して、音量を調節する。

液晶画面を閉じているときは、音が出ません。

### 再生を止める

■停止ボタンを押す。

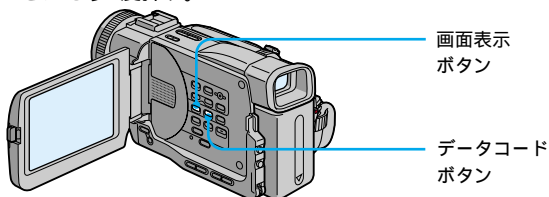
**カメラデータとは**
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

**次のときは、-- -- --を表示します。**
- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

**データコードは**
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます（23ページ）。

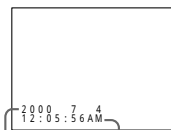
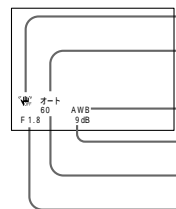
## テープカウンターなどの表示を出す－画面表示機能

### 本機またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。
消すときはもう1度押す。

### データコードについて

本機は撮影時の日付･時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。

### [再生中]に本機またはリモコンのデータコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。
「日付表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

### カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。
（81ページ）
データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。
「日付表示」↔（表示なし）

見る

## いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

### 静止画を見る

[再生中] に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 早送りする

[停止中] に►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 巻き戻す

[停止中] に◄◄巻戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 逆方向に再生する

[再生中] にリモコンの＜ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

[再生中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

### 早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] または [巻き戻し中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

### スロー画を見る

[再生中] にリモコンのスロー❚►ボタンを押す。
逆方向にスロー再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してからスロー❚►ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 2倍速で見る（倍速再生）

[再生中] にリモコンのX2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してからX2ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### コマ送りで見る

[再生一時停止中] にリモコンの❚❚►ボタンを押す。
逆方向にコマ送りするときは、◄❚❚ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

[停止中] にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

**エンドサーチは**
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチが働きます。（122ページ）

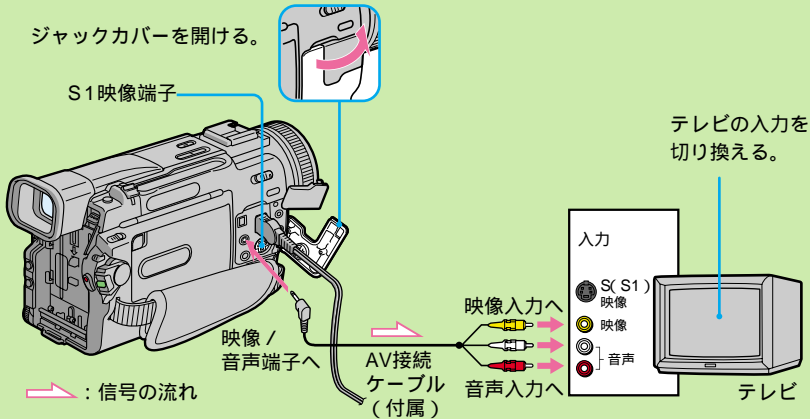
**変速再生中は**
- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。

**一時停止（静止画）について**
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►再生ボタンを押します。

**スロー再生について**
本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただし i DV入力／出力端子から出力される信号にはこの機能は働きません。

**逆方向再生について**
画面の上下や、中央に横縞が入りますが、異常ではありません。

# テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は別売りのACアダプター／チャージャーを使って、コンセントからとることをおすすめします（9ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

**別売りのS映像ケーブルを使うと再生画像がより鮮明になります。**
テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とテレビのS（S1）映像端子を接続します。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

## すでにテレビにビデオがつながっているとき

**本機をビデオの外部入力端子につなぐ。**
ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

## 音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

**AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。**
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。
モノラル音声でお聞きになりたいときは別売りの接続コードをお使いください。

SUPER LASER AVLINK
別売りのAVコードレスIRレシーバーIFT-R20との組み合わせで最大距離が従来比*60%アップ、またノイズレベル約40%減を実現しています。
* LASER AVLINK搭載ビデオカメラとIFT-R10組み合わせ時

**電源スイッチを「切（充電）」にすると**
自動的に解除されます。

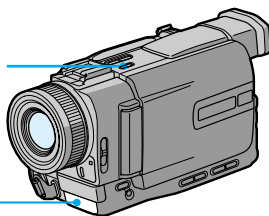
**ソニー製のテレビの場合は**
- 電源について
  本機のSUPER LASER AVLINKボタンを押すと、自動的にテレビの電源が入ります。あらかじめ下記の操作をしておいてください。
  – テレビの主電源を入れる。
  – 本機のメニューで「オートTVオン」を「入」にする。
  – 本機の赤外線発光部をテレビのリモコン受光部に向けておく。
- 入力について
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子（ビデオ1/2/3）と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。（テレビによっては、切り換わるときに一瞬画像や音声がとぎれることがあります。）
- 機種によっては操作できないことがあります。

SUPER LASER AVLINK**を使うと**
バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときはSUPER LASER AVLINKを解除しておいてください。

SUPER LASER AVLINKはソニー（株）の商標です。

## ケーブルを使わずに見る－SUPER LASER AVLINK（スーパーレーザーエーブイリンク）

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。
詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

SUPER LASER AVLINK **ボタン**

**赤外線発光部**

ACアダプターなどの電源を付け、再生したいカセットを入れておく。

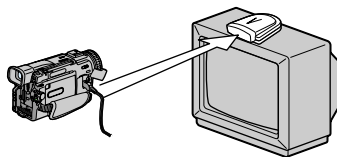
**❶ テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。**

**❷ テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。**

**❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**❹ SUPER LASER AVLINKボタンを押す。**
ボタンのランプが点灯する。

**❺ 本機の►再生ボタンを押す。**
再生が始まる。

**❻ 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。**
再生中の画像がきれいにテレビに映るようにする。

### SUPER LASER AVLINKを解除する
SUPER LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

# テープに静止画を撮る – テープフォト撮影

ミニDVテープに静止画を記録できます。60分テープならSPモードで約510枚、LPモードで約765枚撮れます。
本機ではこのページの方法以外に、“ メモリースティック ”に静止画を記録することができます。（96ページ）

- ビデオプリンターでプリントしたいとき
- 後からテレビやモニターで記念写真のように見たいときなど。

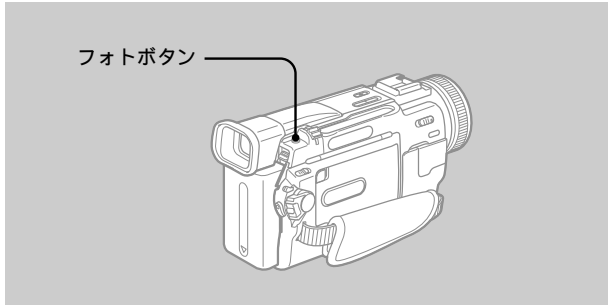
**ご注意**

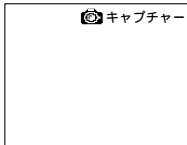
- テープフォト撮影中はモードや設定を変更することはできません。
- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、テープフォト撮影できません。
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト

**動きのある画像をフォト撮影で撮影すると**
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

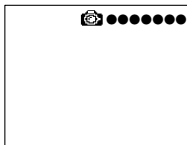
**リモコンのフォトで撮影すると**
押したときに液晶画面またはファインダーに映っている画像が記録されます。

**カメラ録画中にフォト撮影するときは**
フォトボタンを軽く押して画像を確認することができません。フォトボタンを強く押し込んでください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

**ブレの少ない、美しい静止画を撮影するには**
“ メモリースティック ”を使った「メモリーフォト撮影」をおすすめします。

## ❶ 電源スイッチを「カメラ」にする。

## ❷ [撮影スタンバイ中] に フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

## ❸ フォトボタンを強く押し込む。

録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

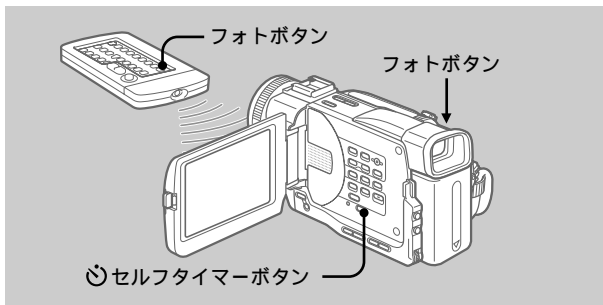
ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中にファインダーまたは液晶画面にうつる画像は静止画となります。

**ご注意**

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマーテープフォト撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」か「ビデオ」にしたとき。

## セルフタイマーテープフォト撮影

セルフタイマーを使って自分の静止画を撮影することができます。

**❶ 電源スイッチを「カメラ」にする。**

**❷ セルフタイマーボタンを押す。**

セルフタイマー表示が出る。

**❸ フォトボタンを強く押し込む。**

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

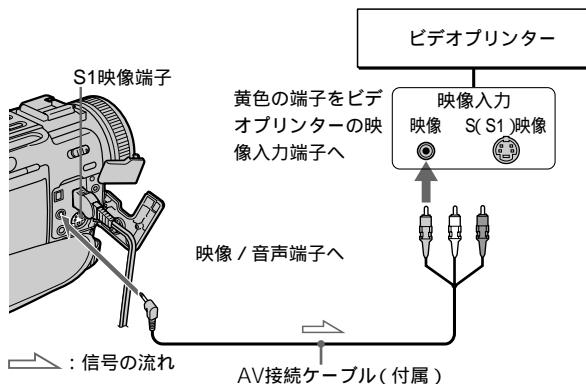
### 秒読み中に撮影を止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度セルフタイマーボタンを押して、セルフタイマー表示を消す。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

**ビデオプリンターに**S（S1）**映像入力端子がついているときは**
別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

## 静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

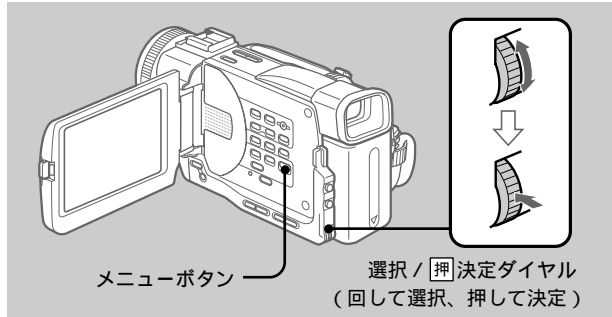
本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取り込みプリントできます。

ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

# 自然な色あいに調節する－ホワイトバランス

明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき、など。

**スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は**
(オクナイ)に設定して撮影することをおすすめします。

**蛍光灯照明下で撮影する場合は**
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。 (オクナイ)に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

**ホワイトバランスを「オート」にしたままで**
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」にしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。

- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

**ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで**
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。

- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

［撮影中］、［撮影スタンバイ中］または［メモリーモード中］に

**メニューで の項目の「ホワイトバランス」を選ぶ。**(81ページ)

(オクナイ)
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

(オクガイ)
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

HOLD（ホールド）
単一色の被写体や背景を撮るとき

## 自動調節に戻す

メニューの「ホワイトバランス」で「オート」を選ぶ。

# 横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

**ワイドTVモードで撮影**

**ファインダー/液晶画面**

通常のテレビで再生*

*画像が縦長になります。

ワイドテレビで再生*

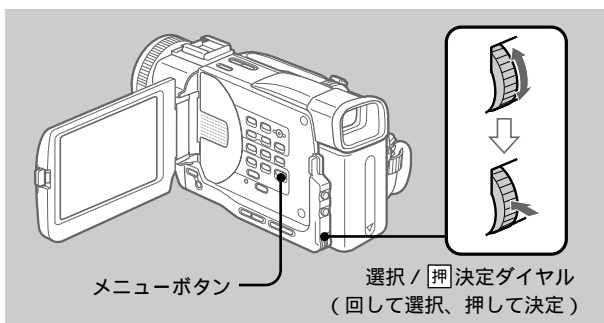
テレビをフルモードに切り換える

**ワイドTVモード中は**
オールドムービーは選べません。

**録画中は**
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、メニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

**テレビの接続について**
下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力端子に接続したとき。

**ID-1方式とは**
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムです。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

**ID-2方式とは**
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

[撮影スタンバイ中] に

**メニューで の項目の「ワイドTV」を「入」にする。(81ページ)**

### ワイドTVモードを解除する

メニューの「ワイドTV」で「切」を選ぶ。

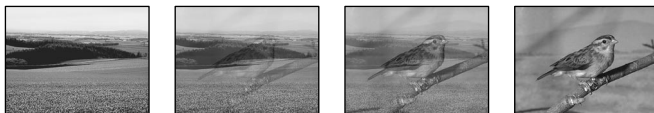
使いこなす—撮影—

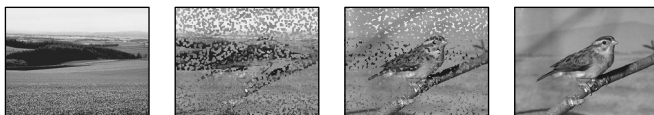
# 効果的な場面転換をする – フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

**フェーダー**

**オーバーラップ（フェードインのみ）**

**ワイプ（フェードインのみ）**

**ドットフェーダー（フェードインのみ）**

フェードアウト

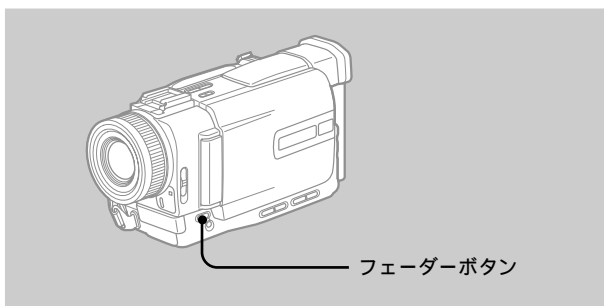
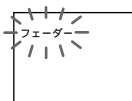
**モノトーンフェーダー**

フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

**ご注意**

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
- デジタルエフェクト
- プログラムAEのキャンドルモード（オーバーラップ、ワイプまたはドットフェーダーのみ）
- SUPER NIGHTSHOT
- テープフォト撮影

**撮影中以外の状態から撮影スタンバイにして「オーバーラップ」、「ワイプ」または「ドットフェーダー」を出すと**
本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中は表示が早い点滅になり、画面が消えます。
このとき、テープの状態によっては、きれいな画像が撮影できないことがあります。

**メモリーモードにしているときは**
フェードイン・フェードアウトはできません。

**1** • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
**フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。**

押すたびに変わります。
フェーダー→モノトーンフェーダー→オーバーラップ→ワイプ→ドットフェーダー→（表示無し）

表示は前回使ったモードから表示されます。

**2** **スタート/ストップボタンを押す。**
フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

### フェードイン・フェードアウトを解除する

**フェード終了後：**自動的に解除される。

**フェード前：**スタート／ストップボタンを押す前に、もう1度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

# 画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

**ネガアート**
→写真のネガフィルムのように

**ソラリ**
→明暗をはっきりさせたイラストのように

**スリム**
→縦に引き伸ばしたように

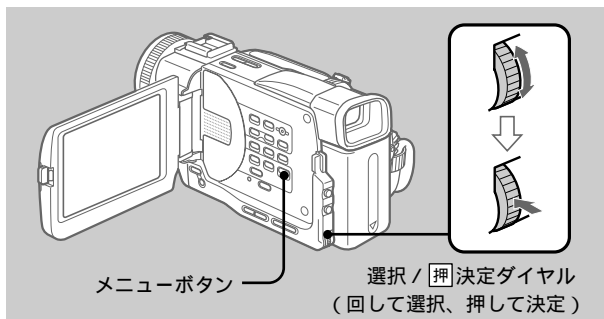
**ストレッチ**
→横に引き伸ばしたように

**パステル**
→淡い色のパステル画のように

**モザイク**
→タイルを組み合わせたように

**セピア**→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

**ピクチャーエフェクト中は**
オールドムービーは選べません。

**電源スイッチを「切（充電）」にすると**
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
**メニューで 🅼 の項目の「ピクチャーエフェクト」を選ぶ。（81ページ）**

❷ **希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。**

### ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

# 特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

**スチル**
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

**フラッシュ**（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

**ルミキー**（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

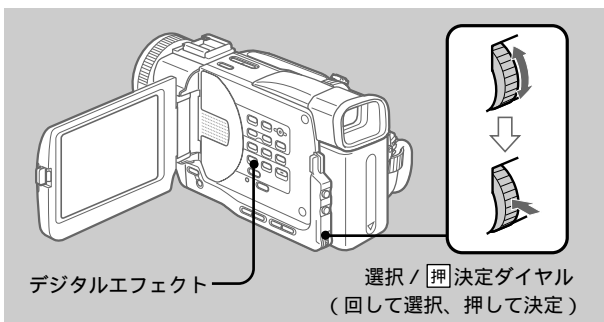
**トレイル**
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

**スローシャッター**
シャッタースピードを遅くする。暗いところで撮影しやすい。画像はザラつく。

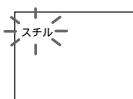
**オールドムービー**
画面は横長、画像はセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

（スチル）
（ルミキー）
**ご注意**

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – フェーダー
  – プログラムAEのキャンドルモード
  – テープフォト撮影
  – SUPER NIGHTSHOT
- スローシャッターを選ぶと以下の操作ができません。
  – プログラムAE
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTVモード
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

**電源スイッチを「切（充電）」にすると**
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

**1** ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**デジタルエフェクトボタンを押す。**

デジタルエフェクト表示が出る。

**2** **選択／押 決定ダイヤルを回して、希望のモードを選ぶ。**

次の順で変わります
スチル←→フラッシュ←→ルミキー←→トレイル←→スローシャッター←→オールドムービー

使いこなす－撮影－

次のページへつづく

**スローシャッターでは**
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

**スローシャッターのシャッタースピードは**

| 表示 | シャッタースピード |
|---|---|
| スローシャッター1 | 1/30 |
| スローシャッター2 | 1/15 |
| スローシャッター3 | 1/8 |
| スローシャッター4 | 1/4 |

### ❸ 選択／押 決定ダイヤルを押して決定する。

表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。
スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

### ❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

| | |
|---|---|
| スチル | 撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。 |
| フラッシュ | フラッシュの間隔。 |
| ルミキー | 静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。 |
| トレイル | 残像が残る時間。 |
| スローシャッター | シャッタースピード。<br>数字を大きくするほど遅くなる。 |
| オールドムービー | 調節は必要ない。 |

スチル IIIIIIII

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。
次のデジタルエフェクトで表示される。
スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイル。

## デジタルエフェクトを解除する

もう1度デジタルエフェクトボタンを押す。

# 撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

**スポットライトモード**
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

**ソフトポートレートモード**
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

**スポーツレッスンモード**
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

**ビーチ&スキーモード**
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

**サンセット&ムーンモード**
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

**風景モード**
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

**キャンドルモード**
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。



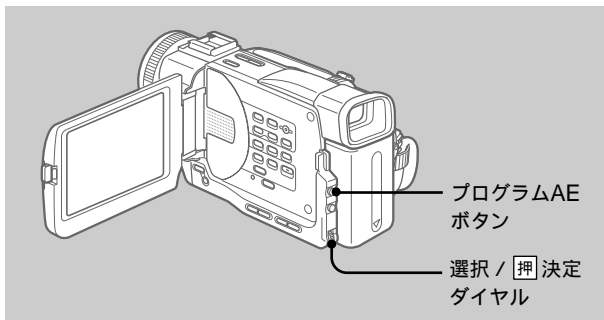
次のページへつづく

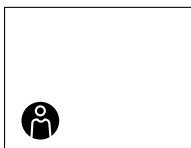
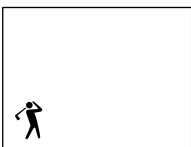
**ご注意**

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライトモード
  – スポーツレッスンモード
  – ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーンモード
  – 風景モード
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – スローシャッター
  – オールドムービー
- キャンドルモード中は以下の操作ができません。
  – デジタルエフェクト
  – オーバーラップ
  – ワイプ
  – ドットフェーダー
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているとき、プログラムAEモードは使えません。（表示が点滅します）
- メモリーモード時、キャンドルモードとスポーツレッスンモードは操作できません。（表示が点滅します）

**ホワイトバランスを「オート」にしているときは**
プログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。

**プログラムAEモードで撮影中でも**
明るさを調節できます。

**蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると**
次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレートモード
– スポーツレッスンモード

❶ ［撮影スタンバイ中］または［メモリーモード中］に
**プログラムAEボタンを押す。**

プログラムAEモード表示が出る。

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回して、希望のプログラムAEモードを選ぶ。**

次の順で変わります。
スポットライトモード↔ソフトポートレートモード↔スポーツレッスンモード↔ビーチ&スキーモード↔サンセット&ムーンモード↔風景モード↔キャンドルモード

**プログラムAEを解除する**

もう一度プログラムAEボタンを押す。

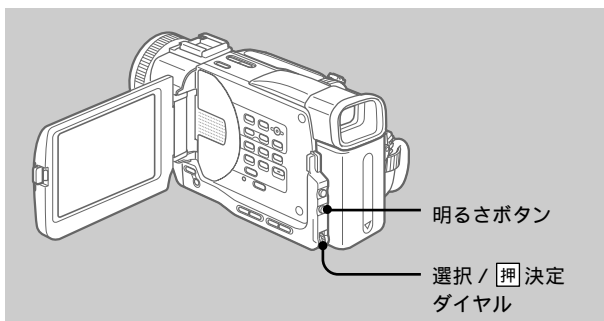
# 手動で画像の明るさを調節する

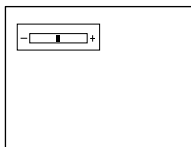
画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。

- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいときなど。

**ご注意**

明るさ調節しているときは逆光補正ボタンは働きません。

**以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります。**
- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ [撮影スタンバイ中]、[撮影中] または「メモリーモード中」に
**明るさボタンを押す。**

明るさ表示が出る。

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回して、明るさを調節する。**

**自動調節に戻す**

もう1度明るさボタンを押す。

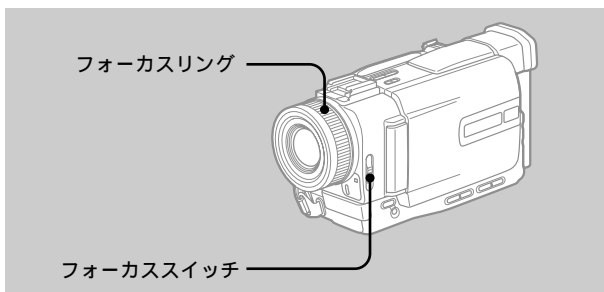
# 手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき。
  – 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  – 被写体が横縞だけのもののとき
  – 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき。

**正確にピントを合わせるには**
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

**近づいて大きく撮るとき**
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

**手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。**
- 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

**1** ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］または「メモリーモード中」に
**フォーカススイッチを「手動」にする。**
手動ピント合わせ表示が出る。

**2** **フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。**

### 自動調節に戻す
フォーカススイッチを「自動」にする。

### ピントを無限遠にして撮影する
フォーカススイッチを「無限」に合わせる。ピントは無限遠になり、の表示が出る。
指を離すとピント合わせが手動に戻る。
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

# 画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

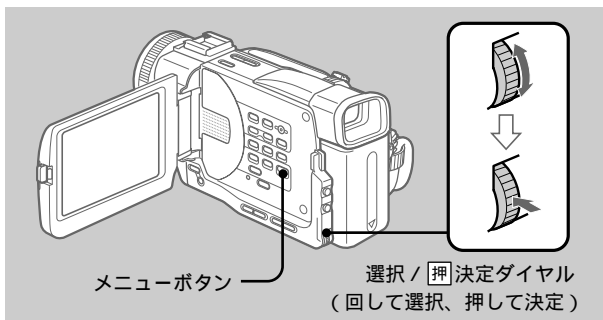
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

**ご注意**

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- 加工した画像を本機で録画することはできません。
  本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

**ピクチャーエフェクトを加えた画像は**
i DV入力/出力端子からは出力されません。

**電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると**ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に
**メニューで の項目の「ピクチャーエフェクト」を選ぶ。**（81**ページ**）

❷ **希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。**
各ピクチャーエフェクトについて詳しくは32ページをご覧ください。

**ピクチャーエフェクトを解除する**

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

# 画像にデジタルエフェクトを加えて見る

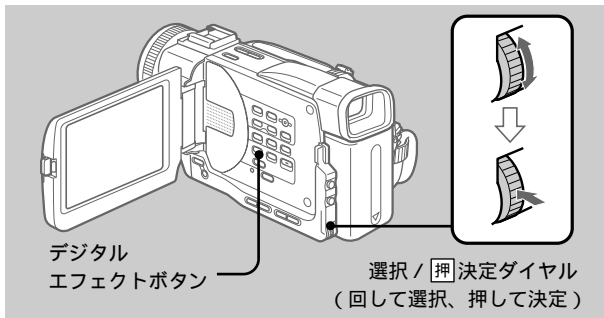
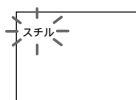
再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

**ご注意**

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- 加工した画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

**デジタルエフェクトを加えた画像は**
i DV入力/出力端子からは出力されません。

**電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると**
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

**1** ［再生中］または［再生一時停止中］に
**デジタルエフェクトボタンを押し、選択／押決定ダイヤルを回して、使いたいモードを選ぶ。**

次の順で変わります。
スチル←→フラッシュ←→ルミキー←→トレイル

**2** **選択／押決定ダイヤルを押して決定する。**

表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

**3** **選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。**

各デジタルエフェクトについて詳しくは33ページをご覧ください。

**デジタルエフェクトを解除する**

もう1度デジタルエフェクトボタンを押す。

# 撮影した画像を拡大する – 再生ズーム

本機で再生中の動画や静止画を拡大できます。拡大した画像は他のテープへダビングしたり“ メモリースティック ”に記録できます。（103ページ）

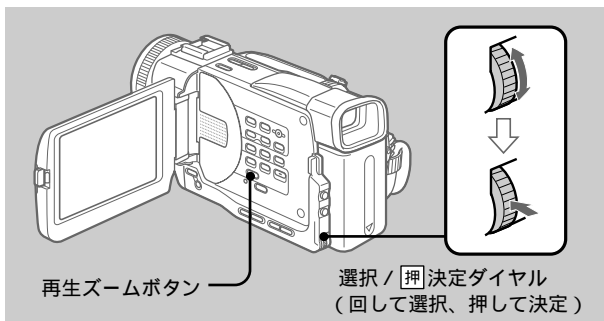
**ご注意**

外部入力で再生された画像には、再生ズームは働きません。

**再生ズーム中は**
デジタルエフェクトの設定はできません。

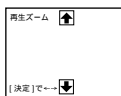
**メニュー、タイトルの表示中は**
再生ズームはできません。

**再生ズーム中に以下の操作をすると再生ズームは自動的に解除されます。**
– 電源スイッチを「切（充電）」にする。
– 再生を停止する。
– メニューボタンを押す。
– タイトルボタンを押す。

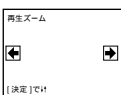
**再生ズームの画像は**
i.DV入力／出力端子から出力されません。

**1** ［再生中］または［再生一時停止中］に
**再生ズームボタンを押す。**

画像の中心部が拡大される。

液晶画面またはファインダー内に画像を移動させる方向の↑↓←→が表示される。

**2** **選択／押 決定ダイヤルを回して、画像を上下に動かし、押して決定する。**

↑：画像が下に動く（ダイヤルは上へ回す）

↓：画像が上に動く（ダイヤルは下へ回す）

**3** **選択／押 決定ダイヤルを回して、画像を左右に動かし、押して決定する。**

→：画像が左に動く（ダイヤルは上へ回す）

←：画像が右に動く（ダイヤルは下へ回す）

**再生ズームを解除する。**

もう1度再生ズームボタンを押す。

# 見たい場面にすばやく戻す – ゼロセットメモリー

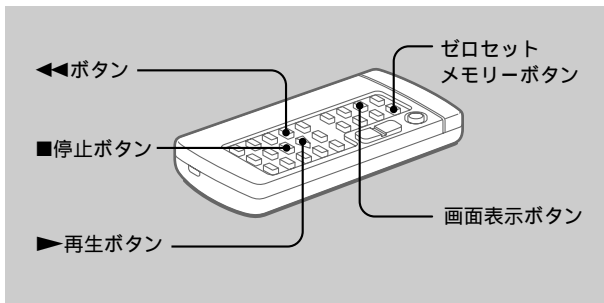
テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。リモコンでのみ操作できます。

再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう１度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。
- テープの途中に記録されていない部分があるとゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

**撮影スタンバイ中にも操作できます**
ある部分だけ撮り直したいときに、撮り直したい部分の終了点でゼロセットメモリーボタンを押しておきます。
撮り直したい部分の開始点まで巻き戻して撮影を始めると終了点でテープが停止し、再び撮影スタンバイになります。

❶ ［再生中］に
**画面表示ボタンを押す。**

❷ **後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら■停止ボタンを押す。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **►再生ボタンを押す。**
再生が始まる。

# タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

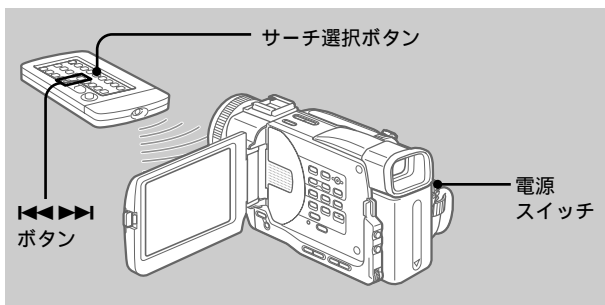
カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます（タイトルサーチ）。（122ページ）リモコンでのみ操作できます。

タイトルを入れた場面を探したいとき

**カセットメモリーの付いていないカセットでは**
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

**録画した部分の間に無記録部のあるテープでは**
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

**タイトルを入れるには**
74ページをご覧ください。

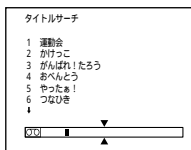
**サーチ選択ボタンは**
押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）の順番で切り換わります。

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。**

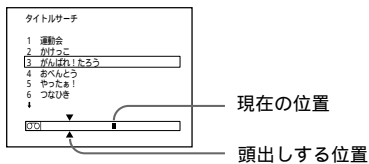
**❷ メニューで CM の項目の「Cメモリーサーチ」を選び「入」にする。（81ページ）**

お買い上げ時は「入」に設定されています。

**❸ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。**

タイトルサーチ画面が出る。

使いこなす―再生

❹ **リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。**

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

**サーチを止める**

■ 停止ボタンを押す。

# 撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。リモコンでのみ操作できます。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。

■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

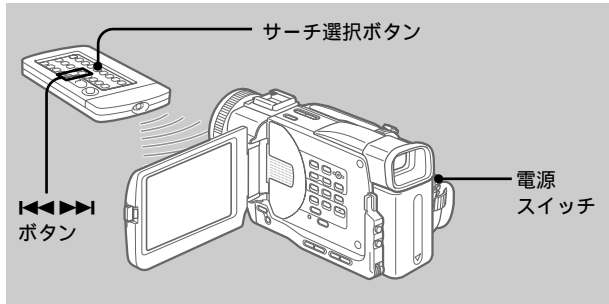
■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

**ご注意**

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

**録画した部分の間に無記録部のあるテープでは**
日付サーチが正しく働かないことがあります。

**1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは**
6つまでです。日付データが7つ以上あるときは、「カセットメモリーを使わずに頭出しする」（46ページ）の手順で検索してください。

**サーチ選択ボタンは**
押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）の順番で切り換わります。

## カセットメモリーを使って頭出しする

カセットメモリー付きカセットでのみできます。（122ページ）

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

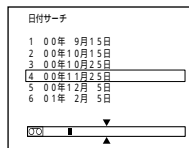
❷ **メニューでの項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（81ページ）**

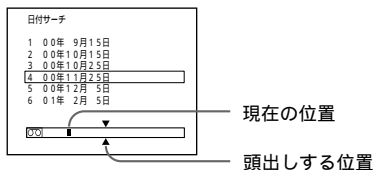
お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。**

日付サーチ画面が出る。

使いこなす―再生

次のページへつづく

❹ **リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。**

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

### サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

## カセットメモリーを使わずに頭出しする

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **メニューで[CM]の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。****（81ページ）**

❸ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。**

❹ **リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。**

日付をさかのぼるときは、⏮ボタンを、日付を進めるときは、⏭ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

### サーチを止める

■停止ボタンを押す。

# 見たい静止画を探す – フォトサーチ／フォトスキャン

「フォト撮影」でミニDVテープに撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。
また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。リモコンでのみ操作できます。

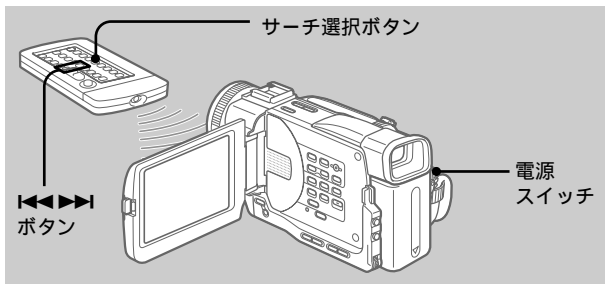
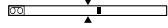
静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するときなど。

**■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し**

**■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し**

**録画した部分の間に無記録部のあるテープでは**
フォトサーチが正しく働かないことがあります。

**1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは**
12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

**サーチ選択ボタンは**
押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）の順番で切り換わります。

## カセットメモリーを使って静止画を探す
## –フォトサーチ

カセットメモリー付きカセットでのみできます。（122ページ）

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **メニューで[CM]の項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（81ページ）**

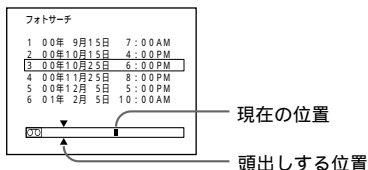
お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。**

フォトサーチ画面が出る。

次のページへつづく

❹ **リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。**

選んだ撮影日時の静止画が出る。

**サーチを止める**

■ 停止ボタンを押す。

## カセットメモリーを使わずに静止画を探す ーフォトサーチ

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **メニューで📼の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。**（81ページ）

❸ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。**

❹ **リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。**

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

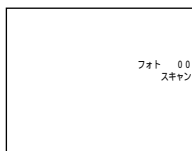
**サーチを止める**

■ 停止ボタンを押す。

## 静止画を次々に出して探すーフォトスキャン

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトスキャン」を選ぶ。**

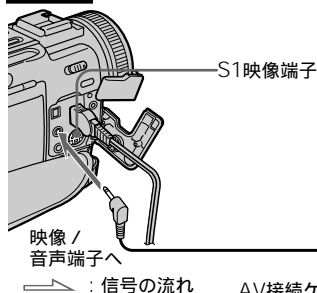
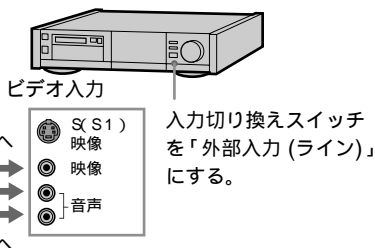
フォトスキャン画面が出る。

❸ **リモコンの|◀◀ または▶▶|ボタンを押す。**

静止画が順に5秒ずつ表示される。

### フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

# 他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

**ダビングの前に**
メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

**次のボタンを押して画面の表示を消してからダビングしてください。**
- 画面表示ボタン
- データコードボタン
- サーチ選択ボタン（リモコン）

消さないでダビングするとテープに記録されてしまいます。

**相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。**
8, Hi8, VHS, VHS C, S VHS, S VHS C, β, ED Beta, Mini DV, DV, Digital8

**録画側ビデオの音声入力がひとつ(モノラル)の場合**
AV接続ケーブル（付属）の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

**別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります。**
ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とビデオのS（S1）映像端子を接続します。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

**1 カセットを準備する。**

本機　＝撮影ずみのカセットを入れる。

録画機＝録画用カセットを入れる。

**2 録画機の準備をする。**

入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

**3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**4 本機で再生する。**

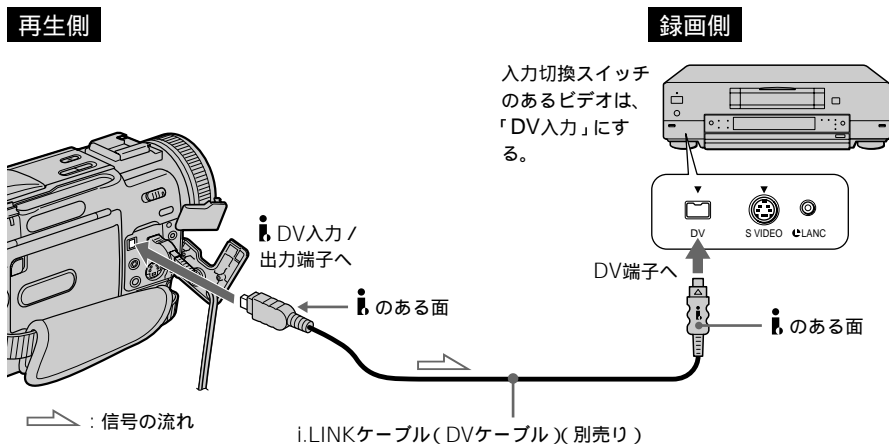
**5 録画機で録画をはじめる。**

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

### ダビングが終わったら

録画機で録画を停止する。本機で再生を停止する。

## i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎダビング編集ができます。
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。
タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容、メモリーインデックス画面の文字はダビングできません。

**i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです**

**デジタルダビング編集中は以下の操作はできません。**
ーデジタルエフェクト
ー再生ズーム
ーピクチャーエフェクト

**再生一時停止にしている画像は**DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

### ❶ カセットを準備する。

本機　＝撮影ずみのカセットを入れる。
録画機＝録画用カセットを入れる。

### ❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

### ❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

### ❹ 本機で再生する。

### ❺ 録画機で録画をはじめる。

**ダビングが終わったら**

録画機で録画を停止する。本機で再生を停止する。

# 必要な場面を選びダビングする
## – デジタルプログラムエディット

録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、録画機を操作せずに別のテープに簡単にダビングできます。
場面はフレーム単位で選べます。

**ご注意**

- タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したとき、録画機の機種により正しく操作できない場合があります。本機の「コントロール選択」を「リモコン」に設定してください。
- デジタルプログラムエディットの操作信号は、デジタルI/O／◐（リモート）端子では送信できません。

**i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと**
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

### デジタルプログラムエディットには、次の準備が必要です

準備1： 録画機をつなぐ。（50、51ページ）
準備2： 録画機を操作するための設定をする。（53、56ページ）
準備3： 録画機のタイミングを補正する。（57ページ）
上記の準備を1度行なった録画機を使用する場合は準備2、3は不要です。

### 操作は以下の順で行ないます

操作1： プログラムを作る。（59ページ）
操作2： デジタルプログラムエディットを実行する（ダビングする）。（62ページ）

## 準備1 録画機をつなぐ

50、51ページの図のように接続します。
AVケーブル、i.LINKケーブル（DVケーブル）どちらでも接続できます。

## 準備2 録画機を操作するための設定をする
## ー リモコンでの設定

本機の赤外線発光部から信号を録画機のリモコン受光部に送り操作します。
AVケーブルで接続したときは、この設定を行ないます。

**リモコンコードを設定する。**

### ❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

### ❷ 録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。

録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

### ❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

### ❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、ETCを選び、押して決定する。

### ❺ 選択／押決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

編集する

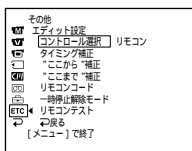
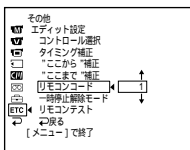
次のページへつづく

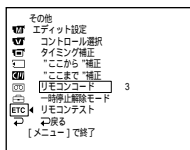
**リモコンコードについて**
本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの機器のリモコンコードを設定してください。お買い上げ時、本機は「1」に設定されています。

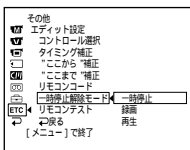
| メーカー | リモコンコード |
|---|---|
| ソニー | 1、2、3、4、5、6 |
| アイワ | 47、54、55、57、60、64 |
| キヤノン | 97 |
| コルディナ | 34 |
| 富士通 | 34 |
| フナイ | 61、80 |
| ゴールドスター | 47 |
| 日立 | 43、47、75 |
| ビクター | 12、13、14、21 |
| マルマン | 26 |
| 三菱 | 22、27、28、29 |
| ＮＥＣ | 35、65、66、67 |
| オリオン | 69、72 |
| 松下 | 16、18、19、78、79、96 |
| フィリップス | 83 |
| パイオニア | 31 |
| 三洋 | 36、38、46 |
| シャープ | 88、89、90、98 |
| 東芝 | 39、40、68 |
| ユピテル | 47 |

リモコンコードが対応していない機種は、デジタルプログラムエディットはできません。

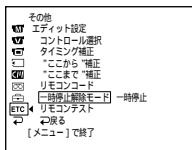
**6 選択／押 決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。**

**7 選択／押 決定ダイヤルを回して、「リモコン」を選び、押して決定する。**

**8 選択／押 決定ダイヤルを回して、「リモコンコード」を選び、押して決定する。**

**9 選択／押 決定ダイヤルを回して、録画機のリモコンコード（番号）を選び、押して決定する。**

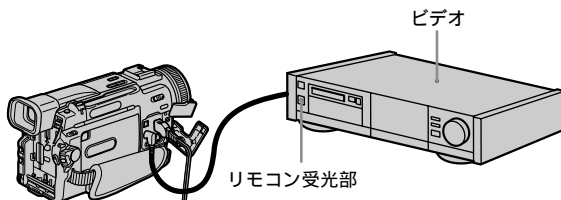
「リモコンコードについて」を参照する。

**録画機の録画一時停止解除モードを設定する**

**1 選択／押 決定ダイヤルを回して、「一時停止解除モード」選び、押して決定する。**

**録画機の録画一時停止を解除するときのボタンの選択**

- ❚❚（一時停止）ボタンを押すときは、「一時停止」
- ●（録画）ボタンを押すときは、「録画」
- ▶（再生）ボタンを押すときは、「再生」

### ❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、録画機の録画一時停止解除モードを選び、押して決定する。

## 再生機と録画機の向きを合わせる

### 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm離し、間に障害物等がない状態にする。

## 録画機がきちんと動くか確認する

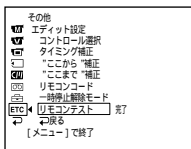
### ❶ 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

### ❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。



次のページへつづく

**❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

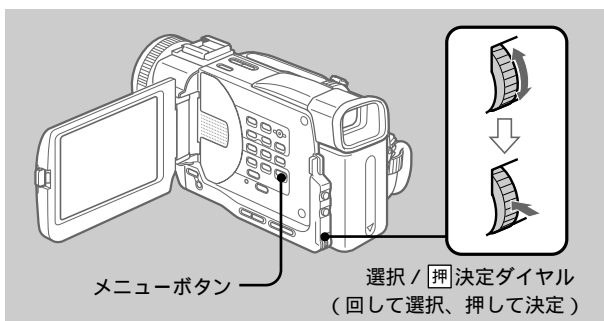
録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。
終了すると本機の液晶画面またはファインダーの表示は「完了」に変わる。

### 録画機が正しく動作しないとき

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコンコード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cmまで離す。

**ご注意**

**i.LINKケーブル（DVケーブル）接続で録画機の操作がうまく行なえないときは**
接続はそのままで、操作を「リモコン」にしてください。映像／音声はデジタル信号で送られます。

## 準備2 録画機を操作するための設定をする ーi.LINKケーブル（DVケーブル）での設定

i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したときはこの設定を行ないます。

**❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**❷ 録画機の電源を入れ、入力切換を「DV入力」にする。**

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

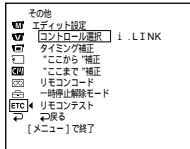
❹ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、ETCを選び、押して決定する。**

❺ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。**

その他
エディット設定
コントロール選択　リモコン
タイミング補正
”ここから”補正
”ここまで”補正
リモコンコード
一時停止解除モード
ETC◀ リモコンテスト
戻る
［メニュー］で終了

❻ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。**

❼ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「i.LINK」を選び、押して決定する。**

その他
エディット設定
コントロール選択　i.LINK
タイミング補正
”ここから”補正
”ここまで”補正
リモコンコード
一時停止解除モード
ETC◀ リモコンテスト
戻る
［メニュー］で終了

**ご注意**

テープの頭から記録すると、始めの部分が切れることがあります。10秒ほどテープを送ってから記録してください。

## 準備3 録画機のタイミングを補正する

筆記具をご用意ください。
本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。

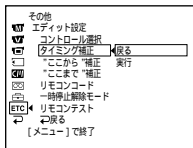
❶ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。**

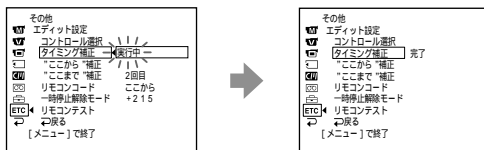
「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは不要です。



次のページへつづく

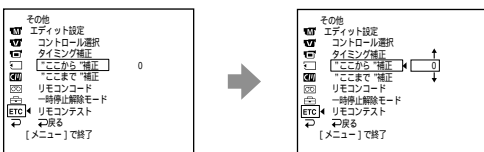
**❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、「タイミング補正」を選び、押して決定する。**

**❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った画像が録画される。

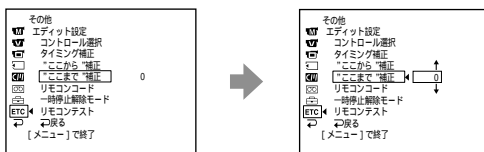
終了すると本機の液晶画面またはファインダーの表示は「実行中」の点滅から「完了」の点灯に変わる。

**❺ 録画機のカセットを巻き戻し、スロー再生する。**

5回分の「ここから」のカウンター数値と「ここまで」のカウンター数値が表示される。これらのカウンター数値の中から、各回ごとに「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値をメモする。

**❻ 「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。**

**❼ 選択／押決定ダイヤルを回して、「”ここから”補正」を選び、押して決定する。**

**❽ 選択／押決定ダイヤルを回して、「ここから」の平均値の数値を選び、押して決定する。**

録画開始のタイミングが補正される。

**❾ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「”ここまで”補正」を選び、押して決定する。**

**❿ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「ここまで」の平均値の数値を選び、押して決定する。**

録画停止のタイミングが補正される。

**⓫ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「戻る」を選び、押して決定する。**

**テープの無記録部には**
「ここから」「ここまで」の設定はできません。

**「ここから」と「ここまで」の間に無記録部があると**
タイムコードが正しく表示されません。

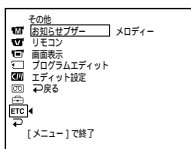
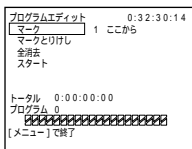
## 操作1 プログラムをつくる

**❶ 本機に再生するカセットを入れ、録画機に録画するカセットを入れる。**

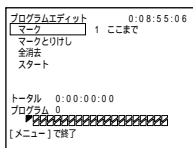
**❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

**❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、ETC を選び、押して決定する。**

編集する

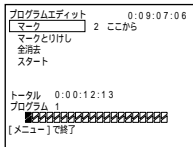
次のページへつづく

❹ **選択／押 決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選び、押して決定する。**

❺ **ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。**（22**ページ）**

❻ **選択／押 決定ダイヤルまたはリモコンのマークボタンを押す。**

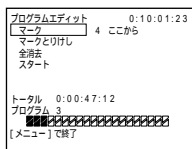
最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

❼ **ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。**

❽ **選択／押 決定ダイヤルまたはリモコンのマークボタンを押す。**

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

プログラムエディット　0:09:07:06
マーク　2　ここから
マークとりけし
全消去
スタート
トータル　0:00:12:13
プログラム　1
［メニュー］で終了

**❾ 手順5〜8を繰り返し、プログラムを設定する。**

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。

最大20プログラムまで設定できます。

### 一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

**❶ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。**

**❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り消されます。

### 消去を中止する

手順の2で「戻る」を選び、押す。

### プログラムの全消去

**❶ 「プログラムエディット」を選択したのち、選択／押 決定ダイヤルを回して、「全消去」を選び、押して決定する。**

**❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り消されます。



次のページへつづく

**全消去を中止する**
手順の2で「戻る」を選び、押す。

**プログラムを中止する**
メニューボタンを押す。
設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

## 操作2 デジタルプログラムエディットを実行する（ダビングする）

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。（i.LINKでの接続のときは不要です。）
録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

**❶ 「プログラムエディット」を選択し、選択／押 決定ダイヤルを回して、「スタート」を選び、押して決定する。**

**❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。
本機の液晶画面またはファインダーの表示は、サーチ中は「サーチ中」、録画中は「エディット中」が表示される。
ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に変わる。

ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

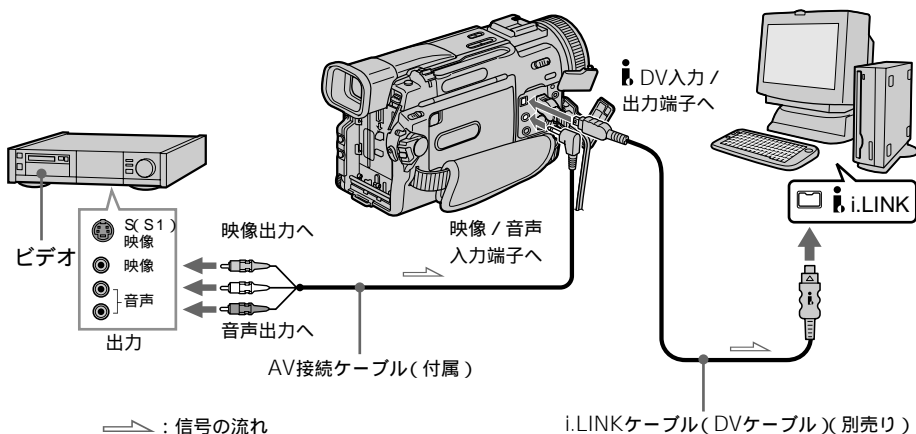
**ダビングを中止する**
ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

**デジタルプログラムエディットを終了する**
ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。
終了するには、メニューボタンを押す。

**以下の場合には、録画機で録画できません**
- カセットが入っていない。
- テープが終わりになっている。
- テープが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。（「リモコン」に設定したとき）
- 録画一時停止解除モードがまちがっている。（「リモコン」に設定したとき）

**以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません**
- プログラムが未設定
- i.LINKケーブル（DVケーブル）を接続していない。（「i.LINK」に設定したとき）
- 接続している録画機の電源が入っていない。（「i.LINK」に設定したとき）

# アナログ機器とパソコンをつなげて使う
## – デジタル変換機能

本機を通してデジタル信号とアナログ信号の相互変換ができます。
本機のAV端子にアナログビデオ機器などをつなぎi.LINKケーブル（DVケーブル）でパソコンにつなぐと、アナログビデオの映像・音声をパソコンに取り込めます。

**ご注意**

- ビデオ信号の取り込みや送り出しができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しいアナログ映像を出力することができないことがあります。受信機によっては色消えやノイズがでることがあります。
- 著作権保護の為の信号（ID-2方式など）が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。

### アナログビデオ機器の映像・音声をパソコンに取り込む

**1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**2 メニューで ETC の項目の「画面表示」を「パネル」にする。**（81ページ）

**3 メニューで VTR の項目の「A/V入力→DV出力」を「入」にする。**

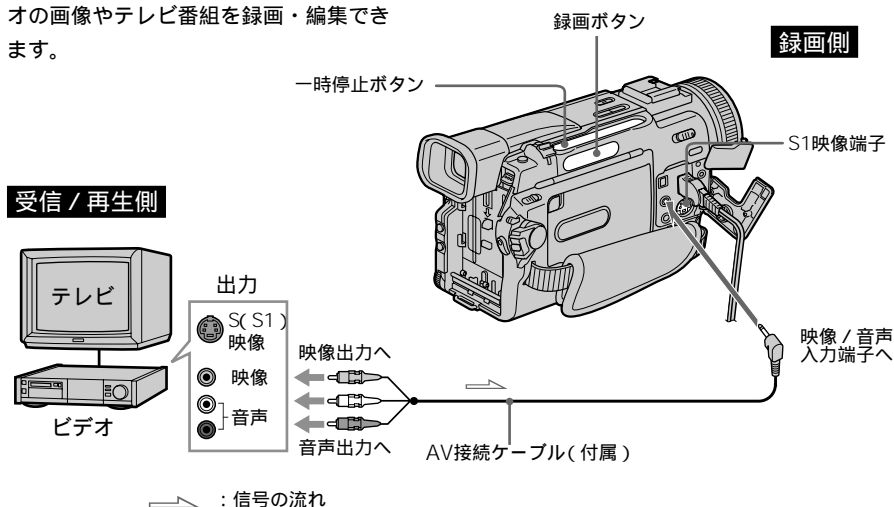
**4 アナログビデオ機器で取り込みたい映像の始めの部分より少し前の位置から再生を始める。**

**5 パソコンで取り込みを始める。**
取り込む操作は、お使いになるパソコンのソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いになるソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

**取り込みが終わったら**
パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器で再生を停止する。

# ビデオやテレビから録画する

## AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、再生側のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

**ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合**
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

**別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります。**
ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とビデオやテレビのS(S1)映像端子を接続します。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

❶ **カセットを準備する。**

本機：録画用カセットを入れる。
ビデオから録画するときは：再生側ビデオに録画ずみのカセットを入れる。

❷ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❸ **メニューで ETC の項目の「画面表示」を「パネル」にする。**（81ページ）

**ご注意**

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出ないときは、受信／再生側の出力端子にAV接続ケーブルを接続しているか確認してください。

## ❹ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

## ❺ 再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

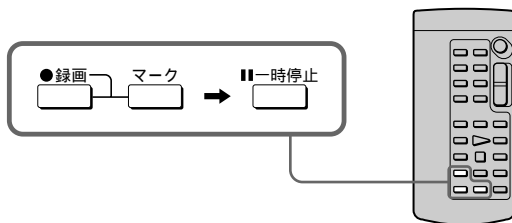
ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。

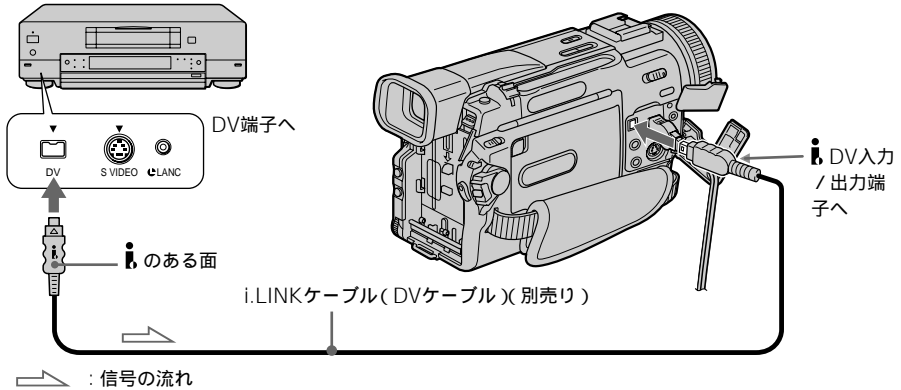
## ❻ 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。

### ダビングが終わったら

本機で録画を停止する。再生側のビデオで再生を停止する。

### リモコンを使って録画する

手順4で●録画ボタンとマークボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順6で❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。

### i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)でつなぎ、本機で録画・編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

**i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです**

**デジタルダビングしているとき**
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

**再生一時停止にしている画像は**
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

**録画を始める前に**
画面表示ボタンを押して画面表示を出してから、液晶画面やファインダーに「DV入力」の表示が出ることを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

**❶ カセットを準備する。**

本機：録画用カセットを入れる。

ビデオから録画するときは：再生側のビデオに録画ずみのカセットを入れる。

**❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**❸ メニューで ETC の項目の「画面表示」を「パネル」にする。**（81ページ）

## ❹ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

## ❺ 再生側のビデオを再生する。

DV機器の画像が液晶画面またはファインダーに出る。

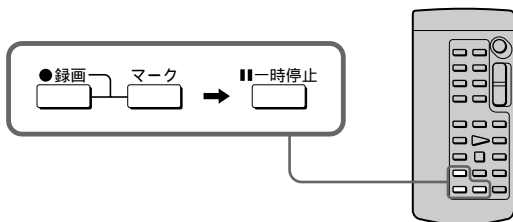
## ❻ 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。

### ダビングが終わったら

本機で録画を停止する。再生側のビデオで再生を停止する。

### リモコンを使って録画する

手順4で●録画ボタンとマークボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順6で❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。

編集する

# 撮影したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。
リモコンも使います。

64ページまたは66ページの接続と準備をし、挿入したい部分の入ったテープを他機に入れておきます。

(a)
テープの走行方向
挿入したい部分

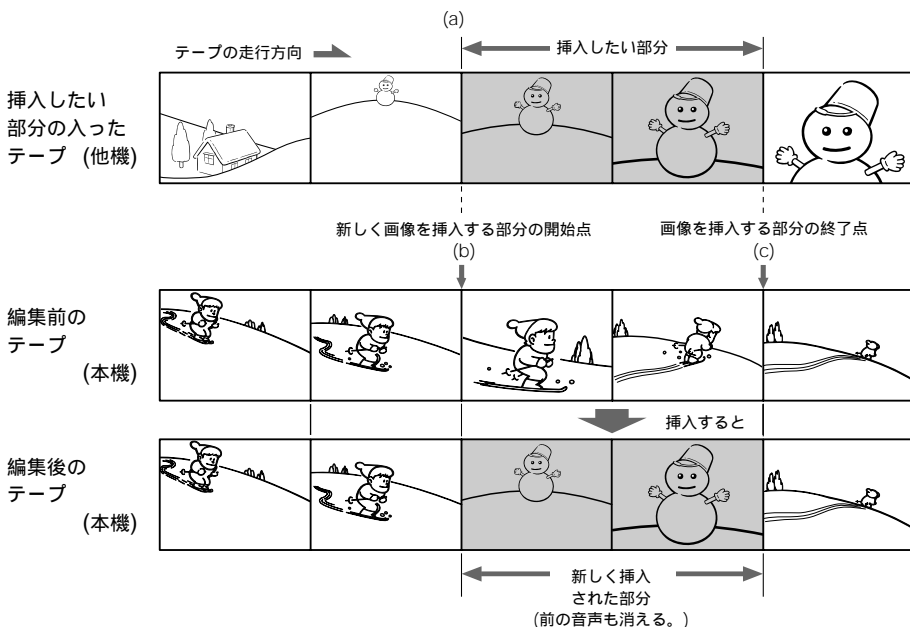
**挿入したい部分の入ったテープ（他機）**

新しく画像を挿入する部分の開始点
(b)
画像を挿入する部分の終了点
(c)

**編集前のテープ（本機）**

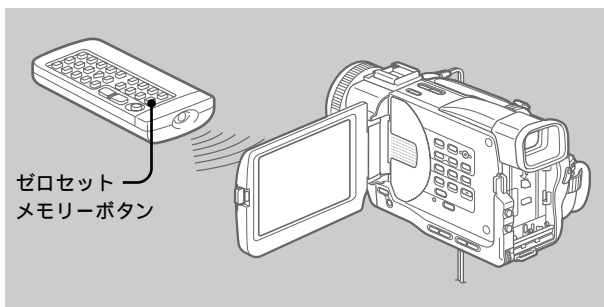
挿入すると

**編集後のテープ（本機）**

新しく挿入された部分
(前の音声も消える。)

**ご注意**

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

**他のビデオで録画したテープに挿入すると**
画質や音質が劣化することがあります（本機以外のDCR-TRV20を含む）。本機で録画されたテープに挿入することをおすすめします。

**新しく挿入された部分を再生すると**
終了点の画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

**❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

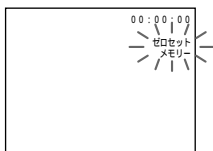
**終了点を設定せずに録画するときは**

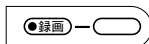
手順3、4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

## ❷ 他機（再生側）で、挿入したい部分（a）の少し前で、再生一時停止状態にする。

## ❸ 本機で、挿入部分の終了点（c）を探し、再生一時停止状態にする。

## ❹ リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。

「ゼロセットメモリー」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。

## ❺ 本機で、挿入部分の開始点（b）を探し、録画一時停止状態にする。

●録画ボタンを2つ同時に押す。

## ❻ 他機（再生側）のII一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機のIIを押す。

本機の挿入部分に、新たにビデオ（再生側）の映像と音声が記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

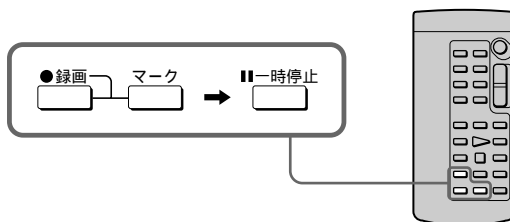


次のページへつづく

### 終了点の位置を変える

手順5の後でリモコンのゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

### リモコンを使って録画する

手順5で●録画ボタンとマークボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順6で❚❚一時停止ボタンを押して、記録を始める。

# 記録済みテープに音声を追加する – アフレコ

録画済みテープの指定した部分に音声を追加できます。撮影時の音声は消えません。
リモコンも使います。

次の4つの方法のいずれかで、音声を録音してください。

**ご注意**

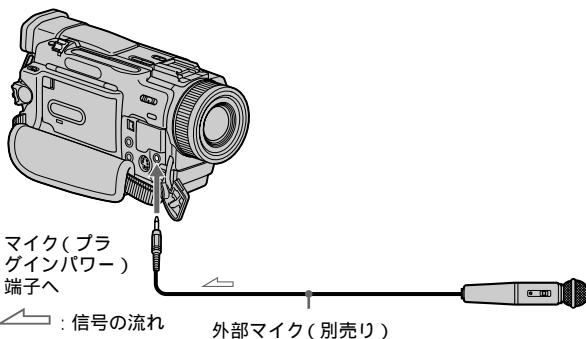
- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません。（86ページ）
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。（85ページ）
- i.DV入力／出力端子からはアフレコできません。
- テープの無記録部分にはアフレコできません。

**すべての接続をすると**
追加する音声は、以下の順番で優先されて録音されます。
- マイク（プラグインパワー）端子
- インテリジェントアクセサリーシュー
- 映像／音声端子
- 内蔵マイク

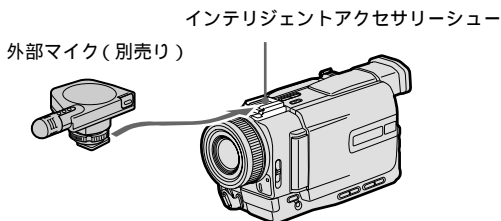
**i.LINKケーブル（DVケーブル）が接続されていると**
アフレコできません。

**本機で録画されたテープに**
アフレコすることをおすすめします。
他のビデオ（本機以外のDCR-TRV20を含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

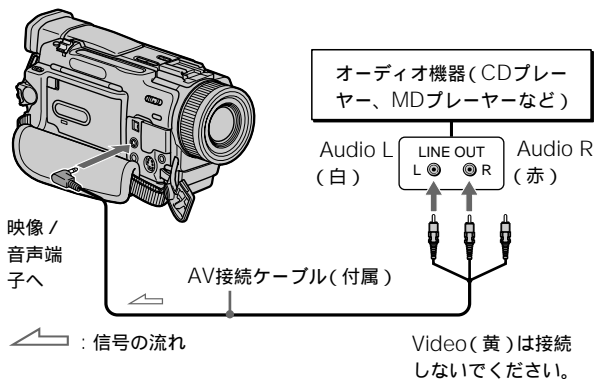
**誤消去防止状態のカセットでは**
アフレコできません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

## 別売りの外部マイクでマイク端子からアフレコする場合

映像／音声端子にテレビなどをつないで画像と音声を確認することができます。アフレコする音声はスピーカーから出力されません。テレビかヘッドホンで確認してください。

## 別売りの外部マイクをインテリジェントアクセサリーシューに接続してアフレコする場合

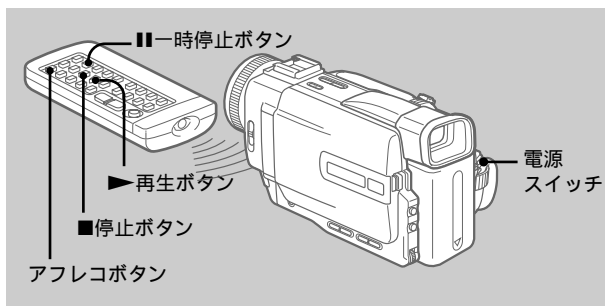
編集する

**ご注意**

映像／音声端子または内蔵マイクでアフレコするときは、S1映像端子、映像／音声端子から映像は出力されません。画像は液晶画面またはファインダーで確認してください。アフレコする音声はヘッドホンで確認してください。

## 映像／音声端子でアフレコする場合

## 内蔵マイクでアフレコする場合

接続は不要です。

## アフレコする

上記のいずれかの接続をして、次の操作をします。

❶ **本機に録画済みカセットを入れる。**

❷ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**より正確にアフレコするには**
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

## ❸ アフレコの開始点を決める。

►再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところで❚❚一時停止ボタンを押す。

## ❹ リモコンのアフレコボタンを押す。

液晶画面またはファインダー上に緑色の●❚❚マークが出る。

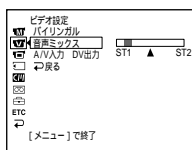
## ❺ リモコンまたは本機の❚❚一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録する。

## ❻ アフレコを終了したいところでリモコンの■停止ボタンを押す。

## アフレコした音声を聞く

### アフレコしたテープを再生する。

メニューの音声ミックスで撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整します。（81ページ）

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音が出る設定に戻ります。

# タイトルを入れる

CM のみ カセットメモリー付きカセットを使うと、撮影中、または撮影後にタイトルを入れられます（インデックスタイトラー機能）。再生すると、タイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。
本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（77ページ）の中から好みのものが選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

**誤消去防止状態のカセットでは**
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

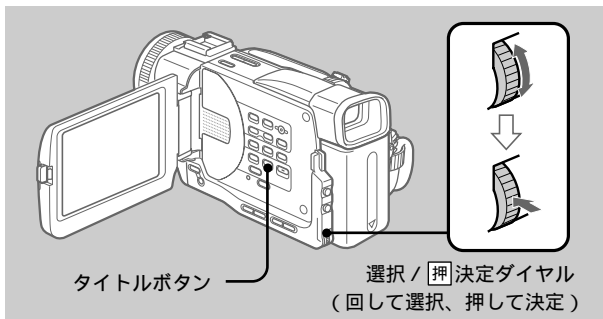
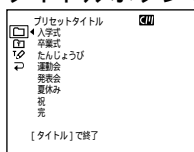
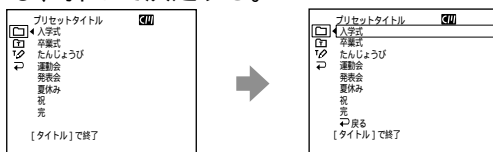
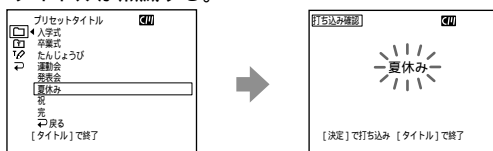
**オリジナルタイトルを入れるとき は**
手順2で「⌂」を選びます。

**テープの無記録部分には**
タイトルを入れられません。

**録画した部分の間に無記録部があるテープでは**
タイトルが正しく表示されないことがあります。

**本機で入れたタイトルは**
- インデックスタイトラー機能付きのMiniDVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

**タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには**
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

**タイトルを出したくないとき**
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。（81ページ）

❶ ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］、［再生一時停止中］または［再生中］に
**タイトルボタンを押す。**

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回して、□を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して、入れたいタイトルを選び、押して決定する。**
タイトルが点滅する。

**設定表示と表示順**

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。
- 「位置設定」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

**1つのカセットに記憶できるタイトルは**

平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ／フォトデータ／カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。

- 日付データ　　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル1つ

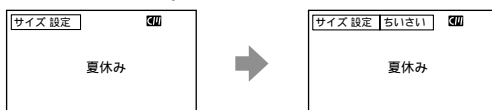
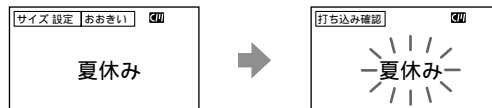
**カセットメモリーの容量がいっぱいのときは**

「カセットメモリーがいっぱいです」のお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

## ❹ 色、サイズ、位置を選択する。

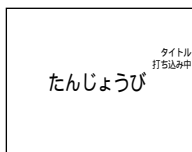
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

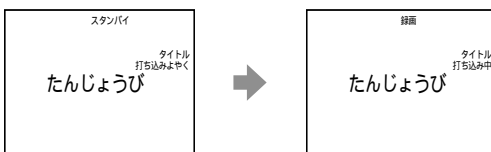
**1 選択／押 決定ダイヤルを回して、「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。**

選べる項目が出る。

**2 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。**

**3 必要なだけ1、2を繰り返す。**

## ❺ タイトルを確認し、選択／押 決定ダイヤルを押す。

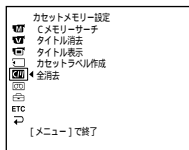
**[再生中]、[再生一時停止中]、[撮影中] のとき**

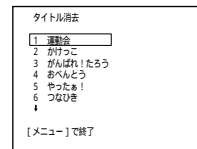
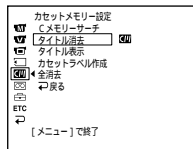
[打ち込み中] の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

**[撮影スタンバイ中] のとき**

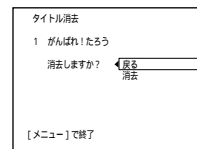
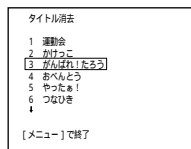
[打ち込みよやく] の表示が出る。スタート／ストップボタンを押して撮影を始めると同時に [打ち込み中] の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

## タイトルを消す

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

**❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、 を選び、押して決定する。**

**❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「タイトル消去」を選び、押して決定する。**

タイトル消去画面が出る。

**❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して、消したいタイトルを選び、押して決定する。**

「消去しますか？」の表示が出る。

**❻ 消去するタイトルを確認し、選択／押 決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。**

### タイトルの消去を中止する

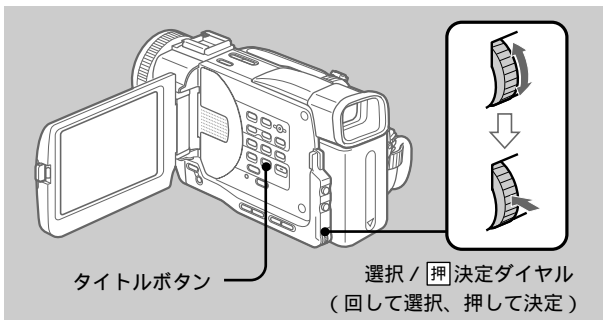
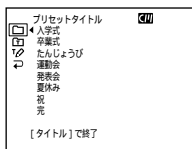
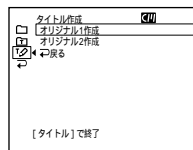
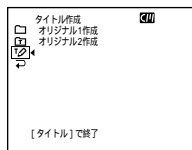
手順6で「戻る」を選ぶ。

# オリジナルタイトルを作る

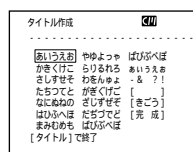
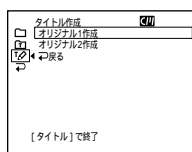
CM
のみ

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類までカセットメモリーに記憶できます。

**撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます**
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう1度はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときは「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

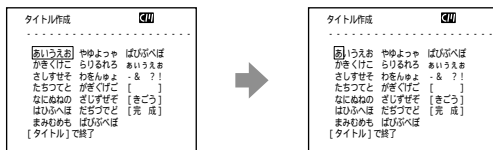
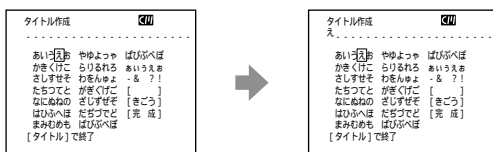
**漢字変換機能はありません**
［きごう］にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき
**タイトルボタンを押す。**

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して、「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、押して決定する。**

編集する

次のページへつづく

**［きごう］を選ぶと**
アルファベットや数字などが選べる画面が出ます。［かな］を選ぶと、元の画面に戻ります。

**文字を消すとき**
［←］を選びます。一番後ろの文字が消えます。

**空白をいれたいときは**
［ー＆　？！］の文字列の、空白の部分を選んでください。

❹ **選択／押決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。**

❺ **選択／押決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。**

❻ **手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作る。**

❼ **選択／押決定ダイヤルを回して、［完成］を選び、押して決定する。**

タイトルが記憶される。

❽ **タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。**

## 作成したタイトルを変更する

手順3で、変更したいオリジナルタイトルを選び、選択／押決定ダイヤルを押す。［←］を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

# カセットになまえを付ける – カセットラベル

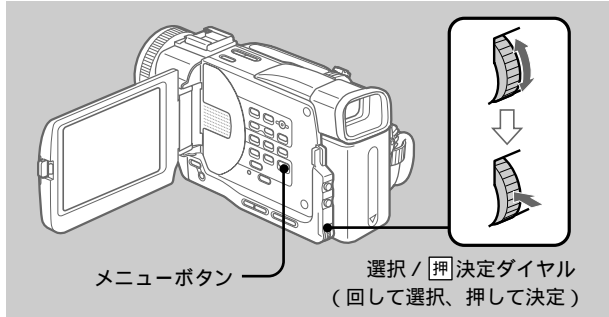
カセットメモリー付きカセットには、10文字までのなまえを付けることができます。

なまえを付けたカセットを入れ、電源スイッチを入れると、付けたなまえが自動的に約5秒間表示されます。

**誤消去防止状態のカセットでは**
カセットになまえをつけられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

**タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには**
メモリー不足でカセットになまえをつけられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

**タイトルが入れてあると**
カセットのなまえが表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

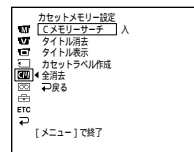
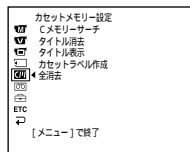
**文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき**
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

**❶ なまえを付けたいカセットを入れる。**

**❷ 電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

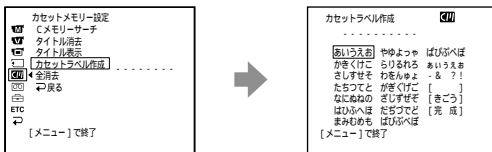
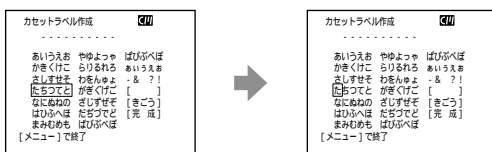
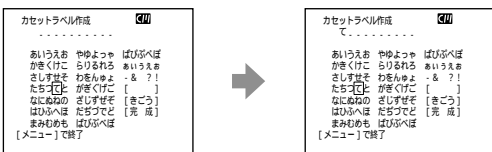
**❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、CM を選び、押して決定する。**

編集する

次のページへつづく

**[きごう]を選ぶと**
アルファベットと記号が選べます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

**空白をいれたいときは**
［ー＆　？！］の文字列の、空白の部分を選んでください。

**❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「カセットラベル作成」を選び、押して決定する。**

カセットラベル作成画面が出る。

**❻ 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。**

**❼ 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。**

**❽ 手順6、7を繰り返して希望のカセットラベルを作る。**

**❾ 選択／押 決定ダイヤルを回して、［完成］を選び、押して決定する。**

カセットラベルが記憶される。

### 作成したカセットラベルを消す

手順6で［←］を選んで消す。

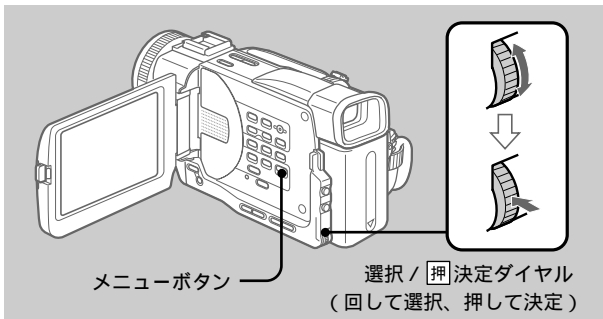
### 作成したカセットラベルを変更する

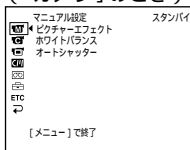
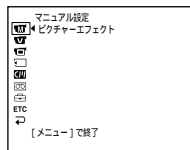
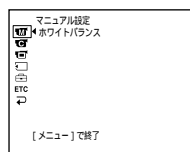
カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

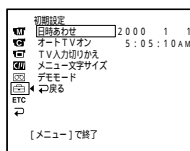
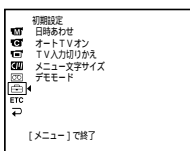
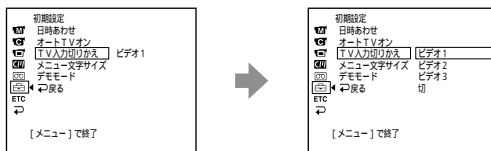
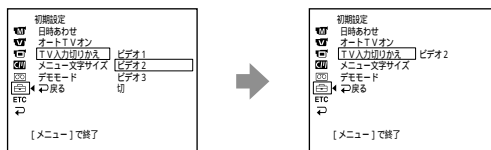
# メニューで設定を変える

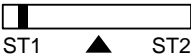
画面上のメニュー項目を、選択／押決定ダイヤルで選択し、本機のお買いあげ時の設定を一部変更することができます。
次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

**メニュー項目は**
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- M マニュアル設定
- C カメラ設定
- V ビデオ設定
- パネル／VF設定
- メモリー設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

**1** ［撮影スタンバイ中］、［ビデオ］または［メモリーモード中］に
**メニューボタンを押す。**

**撮影スタンバイ中のとき（「カメラ」のとき）**

**「ビデオ」のとき**

**「メモリー」のとき**

**2 選択／押決定ダイヤルを回して、希望のアイコンを選び、押して決定する。**

次のページへつづく

**❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。**

**❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、設定を変更し、押して決定する。**

**❺ 必要なだけ手順2〜4を繰り返す。**

手順2に戻るには、選択／押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（83ページ）をご覧ください。

**メニュー画面を消す**

メニューボタンを押す。

## 各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチの位置 |
|---|---|---|---|
| M ピクチャーエフェクト | | 画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（32ページ） | 「ビデオ」「カメラ」 |
| ホワイトバランス | | ホワイトバランスを調整する。（28ページ） | 「カメラ」「メモリー」 |
| オートシャッター | ●入 | 明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。 | |
| C デジタルズーム | ●切 | デジタルズームが働かない。10倍までのズームが働く。 | 「カメラ」 |
| | 20× | ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（15ページ） | |
| | 120× | ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（15ページ） | |
| ワイドTV | ●切 | ワイド録画モードにしない。 | 「カメラ」 |
| | 入 | ワイド録画モードにする。（29ページ） | |
| 手ぶれ補正 | ●入 | 手ぶれ補正が働く。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。 | |
| N.S.ライト | ●入 | NIGHTSHOTライトを使用する。（17ページ） | 「カメラ」 |
| | 切 | NIGHTSHOTライトを使用しない。 | 「メモリー」 |
| V バイリンガル | ●切 | ステレオ音声または主＋副音声で再生する。（123ページ） | 「ビデオ」 |
| | メイン | 左音声または主音声で再生する。 | |
| | サブ | 右音声または副音声で再生する。 | |
| 音声ミックス | | 音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。（73ページ）<br>ST1 ▲ ST2 | 「ビデオ」 |
| A/V入力→DV出力 | ●切 | 本機を通してデジタルの画像音声をアナログ出力します。 | 「ビデオ」 |
| | 入 | 本機を通してアナログの画像音声をデジタル出力します。（63ページ） | |

**手ぶれ補正は**
- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

**手ぶれ補正を解除すると**
ハンディカムを左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示（OFF）が出ます。



次のページへつづく

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチの位置 |
|---|---|---|---|
| パネルバックライト | ●明るさノーマル | 液晶画面の明るさを標準にする。 | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | 明るい | 液晶画面を明るくする。 | |
| パネル色のこさ | | 液晶画面の色のこさを選択／押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。うすくなる ⇔ こくなる | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| ファインダー | ●バックライトノーマル | ファインダーの明るさを標準にする。 | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | バックライト明るい | ファインダーを明るくする。 | |
| 連写 | ●切 | 連写しない。 | 「メモリー」 |
| | 入 | 連写する。（97ページ） | |
| | マルチ画面連写 | 9枚の静止画を連写する。（97ページ） | |
| 画質 | ●スーパーファイン（SFN） | “メモリースティック”を使い、最も高画質で静止画を記録する。（92ページ） | 「ビデオ」「メモリー」 |
| | ファイン（FINE） | “メモリースティック”を使い、高画質で静止画を記録する。（92ページ） | |
| | スタンダード（STD） | “メモリースティック”を使い、標準の画質で静止画を記録する。（92ページ） | |
| 画像サイズ | ●1152×864 | 静止画を1152×864サイズで記録する。 | 「メモリー」 |
| | 640×480 | 静止画を640×480サイズで記録する。 | |
| プリントマーク | 入 | プリントしたい静止画にプリントマークをつける。 | 「ビデオ」「メモリー」 |
| | ●切 | 静止画にプリントマークをつけないようにする。 | |
| プロテクト | 入 | 静止画を誤消去しないようにする。（115ページ） | 「ビデオ」「メモリー」 |
| | ●切 | 静止画の誤消去防止指定をしない。 | |
| スライドショー | — | スライドショーをする。（113ページ） | 「メモリー」 |
| 全消去 | — | プロテクトのかかっていない全ての静止画を消去する。（118ページ） | 「メモリー」 |

**「パネルバックライト」の「明るい」を選ぶと**

- 撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

**「ファインダー」の「バックライト明るい」を選ぶと**

- 撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「バックライト明るい」になります。

**画像サイズは**

「マルチ画面連写」を選ぶと、自動的に640×480になります。ビデオモード時も640×480になります。

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチの位置 |
|---|---|---|---|
| **フォーマット** | ●戻る | フォーマットを中止する。 | 「メモリー」 |
| | フォーマット | 本機に入れた“メモリースティック”をフォーマット（初期化）する。1「フォーマット」の項目を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。2 選択／押決定ダイヤルを回し、「フォーマット」を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。3 画面に「フォーマットします」と表示されたら、選択／押決定ダイヤルを押す。「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。 | |
| **オートフォトコピー** | — | ミニDVテープの静止画を“メモリースティック”にコピーする。（105ページ） | 「ビデオ」 |
| **Cメモリーサーチ** | ●入 | サーチ時にカセットメモリーを使用する。（43ページ） | 「ビデオ」「カメラ」 |
| | 切 | サーチ時にカセットメモリーを使用しない。 | |
| **タイトル消去** | — | タイトルを消去する。（76ページ） | 「ビデオ」 |
| **タイトル表示** | ●入 | タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。 | 「ビデオ」 |
| | 切 | タイトルを出さない。 | 「カメラ」 |
| **カセットラベル作成** | — | カセットになまえを付ける。（79ページ） | 「ビデオ」「カメラ」 |
| **全消去** | — | カセットメモリーのデータをすべて消去する。 | 「ビデオ」「カメラ」 |
| **録画モード** | ●SP | SP（標準）モードで録画する。 | 「ビデオ」「カメラ」 |
| | LP | SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。 | |

**フォーマットについて**
- 市販の“メモリースティック”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマット（初期化）する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間は電源スイッチを切り換えたりボタン操作をしないでください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット（初期化）できません。
- フォーマット（初期化）したあとに「メモリースティックを確認してください」と表示されたら、もう1度フォーマット（初期化）してください。

**フォーマット（初期化）すると“メモリースティック”の記録内容は消去されます**
画像にプロテクトをかけていても消去されます。

**LPモードについて**
- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。



次のページへつづく

# メニューで設定を変える（つづき）

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチの位置 |
|---|---|---|---|
| 音声モード | ●12BIT | 12ビットモード（2つのステレオ音声）の記録ができる。 | 「ビデオ」「カメラ」 |
| | 16BIT | 16ビットモード（高音質で1つのステレオ音声）の記録ができる。 | |
| テープ残量表示 | ●オート | 以下のときにテープ残量を表示する。• 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。• ►再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。• 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。 | 「ビデオ」「カメラ」 |
| | 入 | テープ残量を常に表示する。 | |
| データコード | ●日付／カメラデータ | データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。 | 「ビデオ」 |
| | 日付データ | 日付・時刻を表示する。 | |
| 日時あわせ | — | 日付・時刻を合わせ直す。（88ページ） | 「カメラ」「メモリー」 |
| オートTVオン | ●切 | ー | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | 入 | SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。（24ページ） | |
| TV入力切りかえ | ●ビデオ1<br>ビデオ2<br>ビデオ3 | SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの入力を切り換える。（24ページ） | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | 切 | ー | |
| メニュー文字サイズ | ●ノーマル | 通常の大きさでメニュー表示をする。 | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | 2× | 選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。 | |
| デモモード | ●入 | 本機の機能を一覧できる。 | 「カメラ」 |
| | 切 | デモンストレーションを表示しない。 | |

**音声モードを「16BIT」にすると**
アフレコできません。

**音声モードが16ビットで記録されたテープでは**
音声ミックスのバランス調節をすることができません。

**デモモードについて**

• カセットが入った状態では操作できません。

• お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、「カメラ」に戻します。

• NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、”NIGHTSHOT ”が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチの位置 |
|---|---|---|---|
| ETC 時差補正 | | 時差の設定をする。<br>選択／押 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。 | 「カメラ」<br>「メモリー」 |
| おしらせブザー | ●メロディー | 撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。 | 「ビデオ」<br>「カメラ」<br>「メモリー」 |
| | ノーマル | メロディーのかわりにブザーが鳴る。 | |
| | 切 | メロディー、ブザー音が鳴らない。 | |
| リモコン | ●入 | 付属のワイヤレスリモコンが働く。 | 「ビデオ」<br>「カメラ」<br>「メモリー」 |
| | 切 | リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。 | |
| 画面表示 | ●パネル | タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。 | 「ビデオ」<br>「カメラ」<br>「メモリー」 |
| | ビデオ出力／パネル | テレビ画面にも画面表示を出す。 | |
| 録画ランプ | ●入 | 本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。 | 「カメラ」<br>「メモリー」 |
| | 切 | 本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。 | |
| プログラムエディット | — | プログラムの作成、実行をする。（52ページ） | 「ビデオ」 |
| エディット設定 | — | デジタルプログラムエディットでダビングするときに、録画機を操作するための設定とタイミング補正をする。（52ページ） | 「ビデオ」 |

**ご注意**

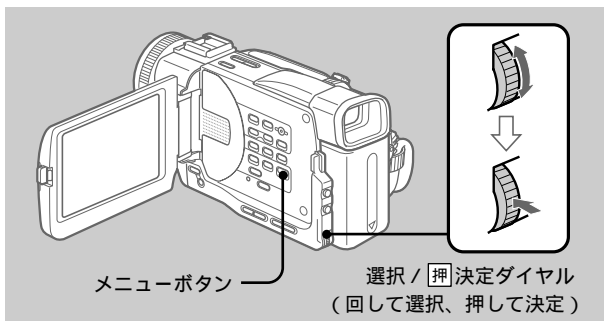
「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

**電源をはずして5分以上たつと**
「音声ミックス」、「リモコン」、「バイリンガル」、「ホワイトバランス」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

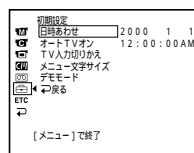
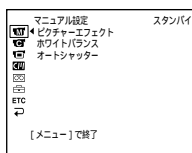
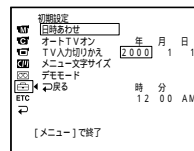
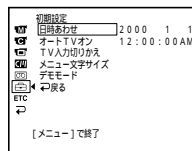
**被写体に接近して撮るとき**
「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

# 日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、4か月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（139ページ）

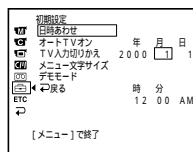
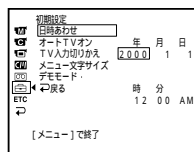
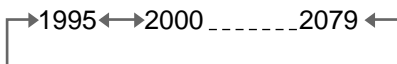
**日時を設定しないと**
テープと“メモリースティック”のデータコードには「– –: – –:– –」が記録されます。

**年→月→日→時→分の順で合わせます。**

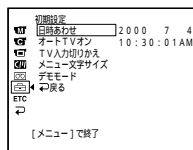
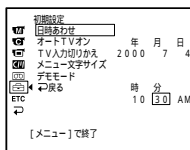
❶ ［撮影スタンバイ中］に
**メニューボタンを押す。**

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して、「日時あわせ」を選び、押して決定する。**

**真夜中、正午は**
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

## ❹ 「年」を合わせる。

選択／押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

年表示は次のように変わる。

## ❺ 手順4と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

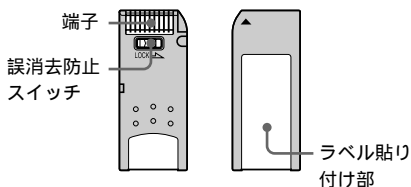
選択／押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。

## ❻ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

# “ メモリースティック ”を使う – はじめに

別売りの“ メモリースティック ”は、静止画を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。
ー画像をテープから“ メモリースティック ”、“ メモリースティック ”からテープへ取りこむ。
ー別売りのパソコン接続キットや“ メモリースティック ”用PCカードアダプターを使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
ー画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

**画像の圧縮形式（JPEG）**
本機は、撮影した画像データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮／記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

**画像のデータファイル名**
次のようになります。
100-0001： 本機の液晶画面またはファインダー上の表示
DSC00001.jpg： パソコンに取り込んだときのパソコン画面上の表示

## “ メモリースティック ”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  ー読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  ー静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  ー高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  ー直射日光のあたる場所
  ー湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。

## パソコンでフォーマット（初期化）した“ メモリースティック ”は

パソコン（Windows OS/Macintosh OS）でフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証致しません。

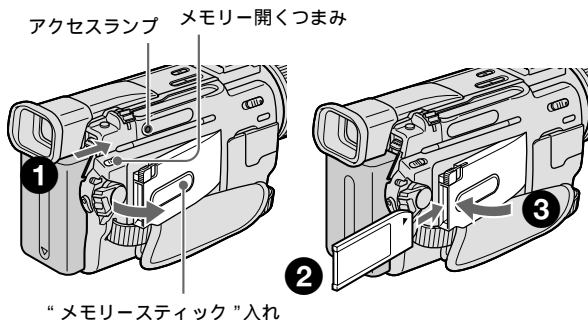
## 画像の互換性について

- 本機は日本電子工業振興会にて制定された統一規格“ Design rules for Camera File systems ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900, DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“ メモリースティック ”が本機で使えないときは、85ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。
  フォーマットすると“ メモリースティック ”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

---

- “ Memory Stick ”（“ メモリースティック ”）、MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。
- PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
データの読み込みまたは書き込みを行っています。
絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。
また、電源を切ったり、“メモリースティック”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

## “メモリースティック”を入れる

### ❶ メモリー開くつまみを矢印方向へずらす。

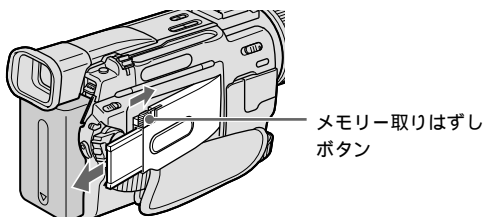
“メモリースティック”入れが開く。

### ❷ “メモリースティック”を入れる。

▶を上にして奥までしっかりと押し込む。

### ❸ “メモリースティック”入れを閉める。

## “メモリースティック”を取り出す

「“メモリースティック”を入れる」の手順1で“メモリースティック”入れを開き、メモリー取りはずしボタンを押す。

**ご注意**

画像によっては、画質モードを変えても、画質に差がないことがあります。

**画質モードの違いは**
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は、画質モードと画像サイズにより、次のようになります。
（画像サイズは、メニューで1152×864、640×480から選ぶことができます。）

＜画像サイズが1152×864のとき＞

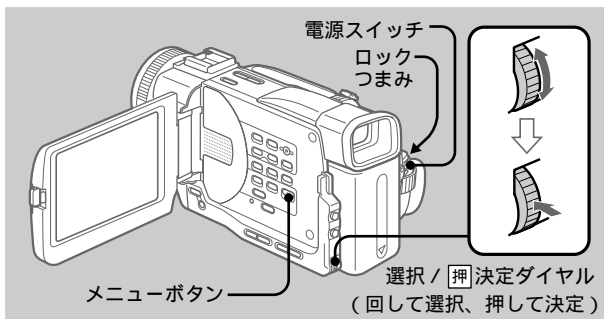
| 画質モード | メモリー容量 |
|---|---|
| スーパーファインモード | 約600Kバイト |
| ファインモード | 約300Kバイト |
| スタンダードモード | 約200Kバイト |

＜画像サイズが640×480のとき＞

| 画質モード | メモリー容量 |
|---|---|
| スーパーファインモード | 約190Kバイト |
| ファインモード | 約100Kバイト |
| スタンダードモード | 約60Kバイト |

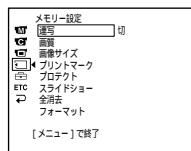
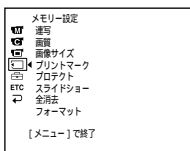
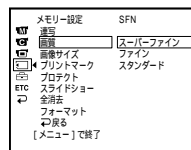
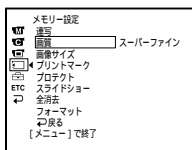
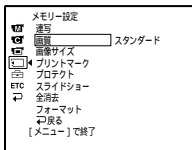
**画質モードは**
再生時は表示されません。

## 画質モードを選ぶ

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

**1 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

**3 選択／押決定ダイヤルを回して、□を選び、押して決定する。**

**4 選択／押決定ダイヤルを回して、「画質」を選び、押して決定する。**

**5** **選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の画質を選び、押して決定する。**

### 画質モードについて

| 設定 | 意味 |
|---|---|
| スーパーファイン<br>表示：SFN | 最も高画質で記録するときに使います。記録可能な静止画の数は、「ファイン」より減ります。約1/3に圧縮されます。「SFN」と表示されます。 |
| ファイン<br>表示：FINE | 画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。「FINE」と表示されます。 |
| スタンダード<br>表示：STD | 標準の画質です。約1/10に圧縮されます。「STD」と表示されます。 |

## 画像サイズを選ぶ

静止画の記録時の画像サイズには2種類あります。「1152×864」または「640×480」から選ぶことができます。
（ビデオモード時は、「640×480」のみになります。）

**ご注意**

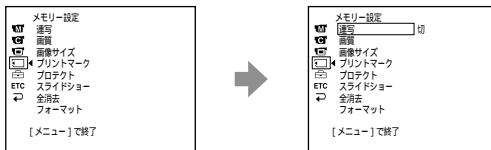
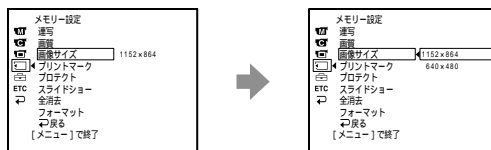
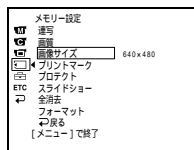
本機で画像サイズ1152×864で記録した静止画ファイルを、1152×864の画像サイズのない他機で再生した場合、画像の一部が表示されないことがあります。

**1** **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**2** **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

次のページへつづく

❸ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、[]を選び、押して決定する。**

❹ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「画像サイズ」を選び、押して決定する。**

❺ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、希望の画像サイズを選び、押して決定する。**

表示は次のように変わります。

### 画像サイズについて

| 設定 | 意味 | 表示 | |
|---|---|---|---|
| | | 記録時 | 再生時 |
| 1152×864 | 静止画を1152×864サイズで記録する。 | 1152 SFN | 1152 |
| 640×480 | 静止画を640×480サイズで記録する。 | 640 SFN | 640 |

### 1枚の“ メモリースティック ”に記録できる枚数の目安

画質モードと画像サイズの設定および被写体の状況で撮影枚数が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる枚数です。

#### 4Mバイトタイプ（別売り）

| 画像サイズ | 640×480 | 1152×864 |
|---|---|---|
| スーパーファイン | 約20枚 | 約6枚 |
| ファイン | 約40枚 | 約12枚 |
| スタンダード | 約60枚 | 約18枚 |

#### 8Mバイトタイプ（別売り）

| 画像サイズ | 640×480 | 1152×864 |
|---|---|---|
| スーパーファイン | 約40枚 | 約12枚 |
| ファイン | 約81枚 | 約25枚 |
| スタンダード | 約122枚 | 約37枚 |

#### 16Mバイトタイプ（別売り）

| 画像サイズ | 640×480 | 1152×864 |
|---|---|---|
| スーパーファイン | 約82枚 | 約25枚 |
| ファイン | 約164枚 | 約51枚 |
| スタンダード | 約246枚 | 約75枚 |

#### 32Mバイトタイプ（別売り）

| 画像サイズ | 640×480 | 1152×864 |
|---|---|---|
| スーパーファイン | 約164枚 | 約52枚 |
| ファイン | 約329枚 | 約104枚 |
| スタンダード | 約494枚 | 約152枚 |

#### 64Mバイトタイプ（別売り）

| 画像サイズ | 640×480 | 1152×864 |
|---|---|---|
| スーパーファイン | 約329枚 | 約104枚 |
| ファイン | 約659枚 | 約208枚 |
| スタンダード | 約988枚 | 約304枚 |

# “ メモリースティック ”に静止画を撮る – メモリーフォト撮影

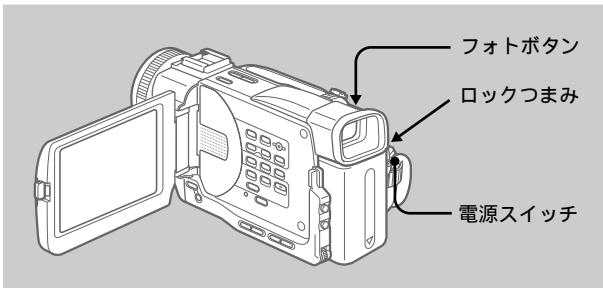
“ メモリースティック ”に静止画を記録することができます。

**電源スイッチを「メモリー」にすると**
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- SUPER NIGHTSHOT
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- キャンドルモード（表示が点滅します）
- スポーツレッスンモード（表示が点滅します）

**静止画を記録中は**
電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

**リモコンのフォトボタンを押すと**
押したときに映っている画像が記録されます。

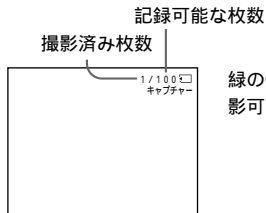
**手順2でフォトボタンを軽く押すと**
画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

**メモリーモードで撮影中は**
カメラモード時にくらべて画角が少し広くなります。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

## ❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

## ❷ フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になる。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

緑の●が点滅から点灯に変わり、撮影可能となる。

## ❸ フォトボタンを強く押し込む。

「カシャ」とシャッター音がして、画像が静止画になる。
バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを押し込んだときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。

**連写の枚数は**
画像サイズと“メモリースティック”の残量によって変わることがあります。

| 画像サイズ | 枚数 |
|---|---|
| 640×480 | 16枚まで |
| 1152×864 | 4枚まで |

**ビデオフラッシュライト（別売り）は**
連写/マルチ画面連写をしているときはフラッシュの発光はできません。

**セルフタイマーまたはリモコンを使って撮影したときは**
自動的に最大枚数まで連続して撮影します。

## 連続して撮る（連写）

あらかじめ下記の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

**通常の連写**
画像サイズが1152×864のときは、連続して4枚までの画像を連続撮影する。
画像サイズが640×480のときは、連続して16枚までの画像を連続撮影する。

**マルチ画面連写（画像サイズが640×480で記録されます）**
9枚の静止画を連続撮影して9分割の画面に表示する。

フォトボタンを強く押し込んでいる間、画像サイズに応じた最大枚数まで連続して撮影します。ボタンを押し込むのをやめると、撮影は終わります。

**❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。**

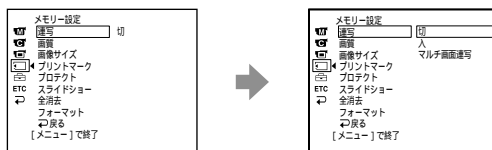
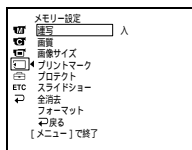
ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**



次のページへつづく

**❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。**

**❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「連写」を選び、押して決定する。**

**❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「入」または「マルチ画面連写」を選び、押して決定する。**

### “ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影は終了します。

### 連写の設定について

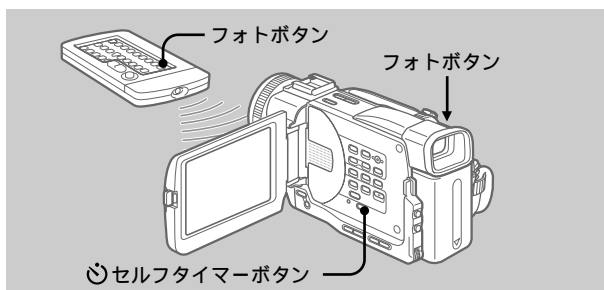
| 設定 | 意味（画面に出る表示） |
|---|---|
| 切 | 連続して撮影しません。 |
| 入 | 約0.5秒間隔で16枚までの静止画を連続して撮影します。（ ） |
| マルチ画面連写 | 約0.5秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。このとき、静止画の画像サイズは640×480で記録されます。（ ） |

**ご注意**

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー“メモリースティック”フォト撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」か「ビデオ」にしたとき。

**画像の確認**
セルフタイマー撮影をするとき、本体のフォトボタンを軽く押して、画像を確認できます。深く押し込むと、セルフタイマー撮影が始まります。

## セルフタイマー“メモリースティック”フォト撮影

セルフタイマーを使って自分の静止画を撮影することができます。

**❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**❷ セルフタイマーボタンを押す。**

セルフタイマー表示が出る。

**❸ フォトボタンを強く押し込む。**

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

### 秒読み中に撮影を止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度セルフタイマーボタンを押して、セルフタイマー表示を消す。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

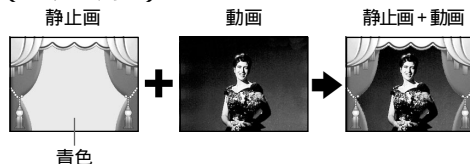
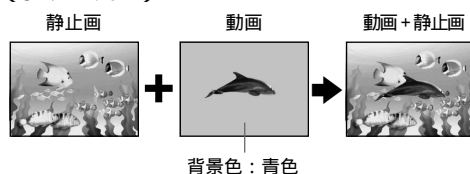
# 静止画を重ねて撮る – メモリーミックス

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。

**M. クロマキー**（メモリークロマキー）
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分を抜いて動画と重ねる。

**M. ルミキー**（メモリールミキー）
手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルをメモリースティックに入れておくと便利です。

**C. クロマキー**（カメラクロマキー）
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。(青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分を抜く。)

**M.オーバーラップ**（メモリーオーバーラップ）
オーバーラップフェーダーと同様に、“ メモリースティック ”に記録してある静止画から、カメラで撮影している動画にフェードインをする。

- 記録用のミニDVテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**1 電源スイッチを「カメラ」にする。**

**ご注意**

重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
本機で再生できないことがあります。

**撮影中は**
モードを選び直すことはできません。

**❷** ［撮影スタンバイ中］に
**メモリーミックスボタンを押す。**

最後に撮影した静止画、または最後に合成した静止画が画面の右下に出る。

**❸ メモリー ＋／ーボタンを押して、重ねたい静止画を選ぶ。**

前の画像を出すときは、メモリー －ボタンを押す。
次の画像を出すときは、メモリー ＋ボタンを押す。

**❹ 選択／押決定ダイヤルを回してモードを選ぶ。**

次の順で変わります
M. クロマキー↔M. ルミキー↔C. クロマキー↔M.オーバーラップ

**❺ 選択／押決定ダイヤルを押す。**

静止画が動画と重なる。
M.オーバーラップを選んだときは、静止画と動画がオーバーラップし、スタンバイ状態になる。



次のページへつづく

### ❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

| | |
|---|---|
| M. クロマキー | 静止画の、青色の部分の抜き具合。 |
| M. ルミキー | 静止画の、明るい部分の抜き具合。 |
| C. クロマキー | 動画の、青色の部分の抜き具合。 |

バー表示を小さくするほど効果が大きくなる。

M.オーバーラップは調節できません。

### ❼ スタートストップボタンを押して撮影を始める。

#### 静止画を選び直す

手順6の後でメモリー ＋／－ボタンを押す。または、手順6の後で選択／押決定ダイヤルを押すと、手順4に戻る。
（M.オーバーラップを除く）

#### モードを選び直す

手順6の後で選択／押決定ダイヤルを押す。手順4に戻る。
（M.オーバーラップを除く）

#### メモリークロマキー／メモリールミキー／カメラクロマキー／メモリーオーバーラップを解除する

もう1度メモリーミックスボタンを押す。

# ミニDVテープの画像を静止画として取りこむ

ミニDVテープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に静止画として記録することができます。

また、外部入力されている画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に静止画として記録することもできます。

**静止画の画像サイズは**
640×480になります。

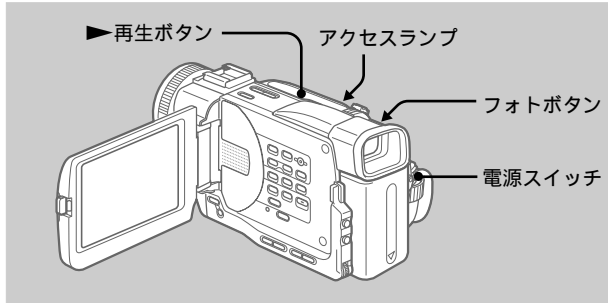
**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

**画面に「メモリースティックを確認してください」と表示されたら**
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“ メモリースティック ”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

**再生中にフォトボタンを軽く押すと**
テープは一時停止します。

**ミニDVテープに記録された音声は**
記録できません。

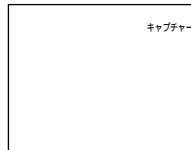
**タイトルは**
記録できません。フォトボタンを押し込んで画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

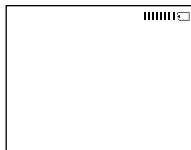
**リモコンのフォトボタンを押すと**
押したときに映っている画像が記録されます。

• 録画済みのミニDVテープを入れておいてください。
• あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。**

**❷ ►再生ボタンを押す。**

ミニDVテープの画像が映る。

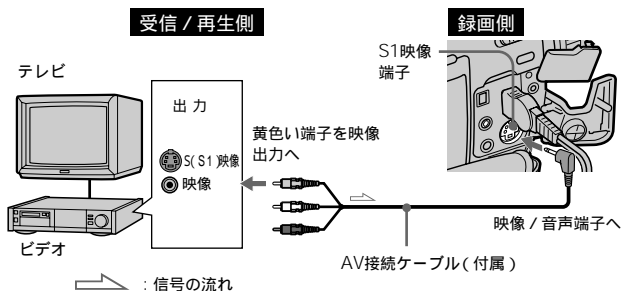
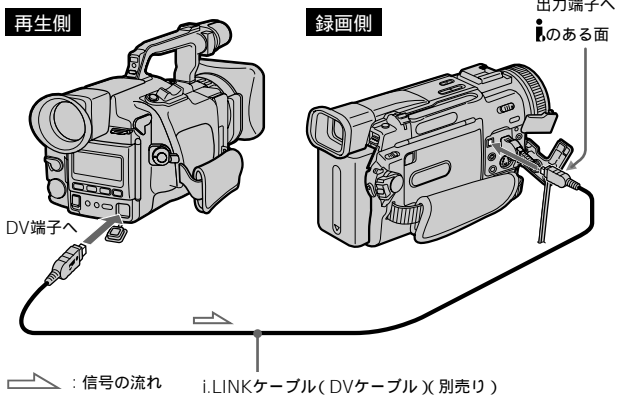
**❸ 画像を取り込みたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。**

ミニDVテープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出る。このとき記録はされません。

**❹ フォトボタンを強く押し込む。**

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを押し込んだときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。ミニDVテープの画像は再生に戻る。

**別売りのS映像ケーブルを使うと**
録画画像がより鮮明になります。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

## 他機をつないで静止画を取りこむ

### 映像入力端子から取りこむ場合

### DV入力／出力端子から取りこむ場合

❶ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にして、メニューのETCの項目の「画面表示」を「パネル」にする。**

❷ **メニューで[VTR]の項目の「A/V入力→DV出力」を「切」にする。**

❸ **他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。**
他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❹ **103ページの手順3〜4を行う。**

# ミニDVテープの静止画を自動記録する – オートフォトコピー

サーチ機能を使って、ミニDVテープに記録されている静止画のみを“ メモリースティック ”に順次取りこんで、記録することができます。

**静止画の画像サイズは**
640×480になります。

**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

**ミニDVテープの静止画をすべてコピーしたいときは**
ミニDVテープを最初まで巻き戻してから、コピーを行ってください。

**“ メモリースティック ”の誤消去防止つまみが「LOCK」になっていると**
「実行できません」と表示されます。

- 録画済みのミニDVテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。**

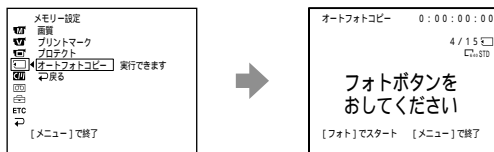
**❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

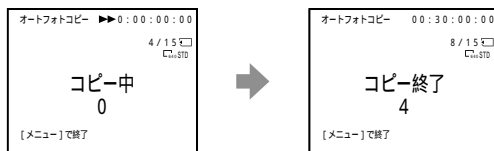
**❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、▭を選び、押して決定する。**

“メモリースティック”を使う

**途中で“ メモリースティック ”を入れかえると**
前の“ メモリースティック ”に記録した画像データの続きの画像から再び記録し始めます。

**4 選択／押 決定ダイヤルを回して、「オートフォトコピー」を選び、押して決定する。**

「フォトボタンをおしてください」と表示される。

**5 フォトボタンを強く押し込む。**

ミニDVテープの静止画が“ メモリースティック ”に記録される。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」と表示される。

### コピーを中止する／終了する

メニューボタンを押す。

### “ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリーフル」と表示され、コピーは終了します。
“ メモリースティック ”を入れ換え、もう1度手順2から操作してください。

# 静止画を見る – メモリーフォト再生

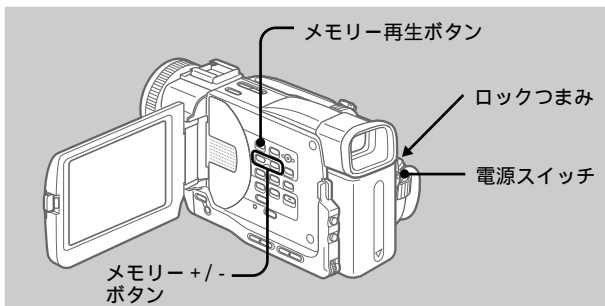
“ メモリースティック ”に記録してある静止画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、画像を6枚ずつ表示することができます。

**テレビで見るときは**
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

**撮影日時は**
データコードボタンを押すと、見ることができます。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
本機で再生できないことがあります。

**“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは**
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ **メモリー再生ボタンを押す。**

最後に撮影した画像が出る。

❸ **メモリー+/−ボタンを押して、静止画を選ぶ。**

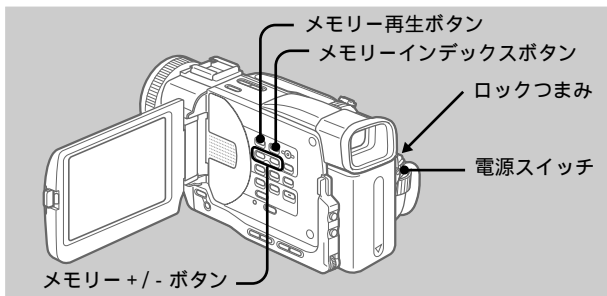
前の画像を見るときは、メモリー−ボタンを押す。
次の画像を見るときは、メモリー+ボタンを押す。

**メモリーフォト再生を止める**

もう1度メモリー再生ボタンを押す。

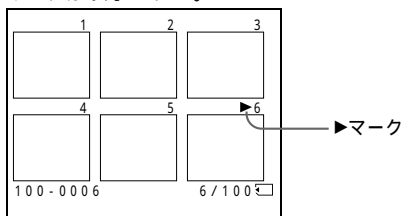
## 静止画再生中の画面表示

## 画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**❷ メモリーインデックスボタンを押す。**

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。

- 次の6枚を見るときは、メモリー＋ボタンを押し続ける。
- 前の6枚を見るときは、メモリー－ボタンを押し続ける。

**ご注意**

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“メモリースティック”の記録順を示す番号です。データファイル名（90ページ）とは違いますのでご注意ください。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**

インデックス表示をすることはできない場合があります。

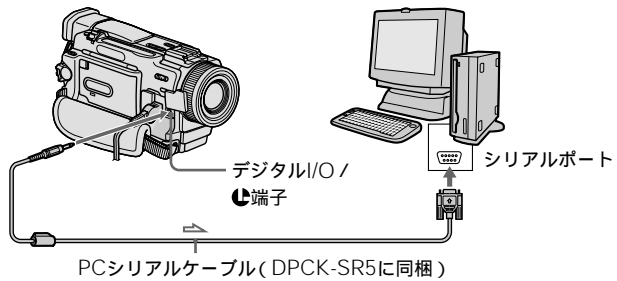
**画面表示を消すには**

画面表示ボタンを押す。

### 1枚の表示（シングル表示）に戻す

メモリー＋/－ボタンで▶マークを表示したい画像に移動し、メモリー再生ボタンを押す。

## “ メモリースティック ”の画像をパソコンに取り込む

別売りのパソコン接続キットDPCK-SR5を使って、“ メモリースティック ”に記録した静止画をパソコンに取り込むことができます。

：信号の流れ

1 **電源スイッチを「メモリー」にする。**

2 **液晶画面またはファインダーに「PCモード」と表示される。**
通常の操作はできなくなります。

詳しくはパソコンの取扱説明書、およびDPCK-SR5に付属のPictureGear4.1 Liteの取扱説明書をご覧ください。

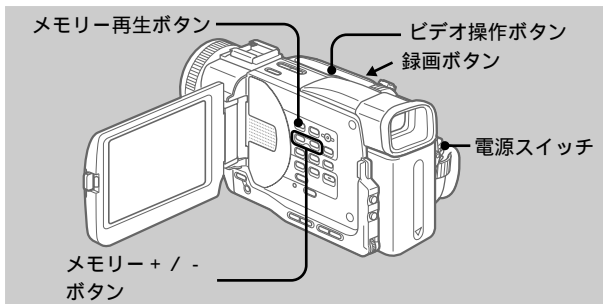
# “ メモリースティック ”で撮った画像をミニDVテープにダビングする

あらかじめ“ メモリースティック ”に記録した静止画やタイトルなどをミニDVテープにダビングすることができます。

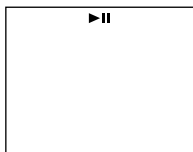
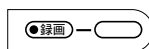
**ダビング中は**
メモリー再生ボタン、メモリーインデックスボタン、メモリー消去ボタン、メモリー＋ボタン、メモリー－ボタン、メモリーミックスボタンは操作できません。

**インデックス画面は**
録画できません。

**ダビング一時停止中にエディットサーチをすると**
メモリー再生は停止します。

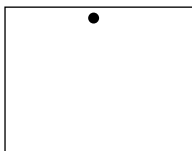
**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
ダビングできないことがあります。

- 記録用のミニDVテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **ビデオ操作ボタンを使って、静止画をダビングしたい場所を探し、ミニDVテープを再生一時停止にする。**

❸ **●録画ボタンを2つ同時に押し、録画一時停止にする。**

**録画中または録画スタンバイ中に画面表示ボタンを押すと**
タイムコードなど、ミニDVテープに関する表示以外に、メモリー再生表示、ファイル名表示も見ることができます。

**❹ ダビングしたい静止画をメモリー再生する。**

**❺ ❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。**

録画を止めたいところでもう1度❚❚一時停止ボタンを押す。

**❻ 他にもダビングする場合は、手順4〜5を繰り返す。**

### ダビングを途中で中止するときは

■停止ボタンを押す。

# “ メモリースティック ”に撮った画像を拡大する – メモリー再生ズーム

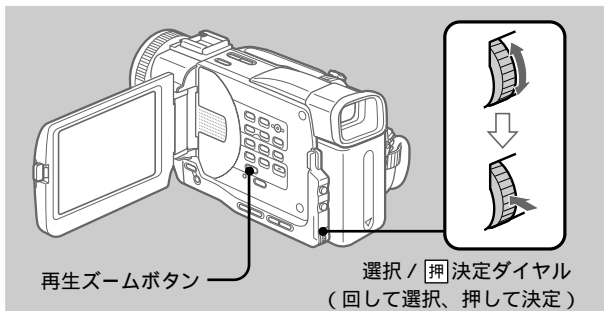
“ メモリースティック ”に記録した静止画を拡大して見ることができます。拡大した画像は見たい部分を選べ、本機や他のビデオにダビングできます。

**ご注意**

再生ズームで拡大した画像を“ メモリースティック ”に記録することはできません。

**再生ズーム中は**
デジタルエフェクトの設定はできません。

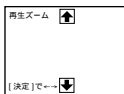
**再生ズーム中に以下のボタンを押すと解除されます。**
– メニュー
– メモリー再生
– メモリーインデックス
– メモリー+/–

**再生ズームの画像は**
i DＶ入力／出力端子から出力されません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

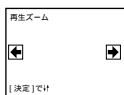
**1** ［メモリー再生中］に
**再生ズームボタンを押す。**

画像の中心部が拡大される。

液晶画面またはファインダー内に画像を移動させる方向の↑↓←→が表示される。

**2** **選択／押 決定ダイヤルを回して、画像を上下に動かし、押して決定する。**

↑：画像が下に動く（ダイヤルは上へ回す）

↓：画像が上に動く（ダイヤルは下へ回す）

**3** **選択／押 決定ダイヤルを回して、画像を左右に動かし、押して決定する。**

→：画像が左に動く（ダイヤルは上へ回す）

←：画像が右に動く（ダイヤルは下へ回す）

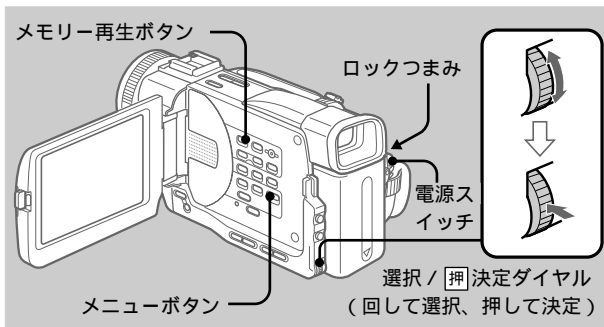
**メモリー再生ズームを解除する。**

再生ズームボタンを押す。

# 静止画を順番に自動再生する – スライドショー

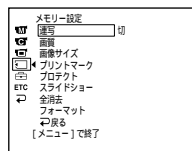
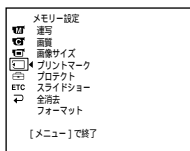
画像を順番に次々に自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

**テレビで見るときは**
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでください。

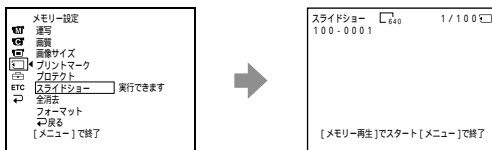
**設定中に“ メモリースティック ”を入れ換えると**
スライドショーは動作しません。“ メモリースティック ” を入れ換えたら、必ず初めから操作し直してください。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**1 電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

**3 選択／押 決定ダイヤルを回して、□を選び、押して決定する。**

“メモリースティック”を使う

**❹ 選択／[押]決定ダイヤルを回して、「スライドショー」を選び、押して決定する。**

**❺ メモリー再生ボタンを押す。**

“メモリースティック”の画像が順番に再生される。

**スライドショーを中止する／終了する**

メニューボタンを押す。

**スライドショーを一時停止する**

メモリー再生ボタンを押す。

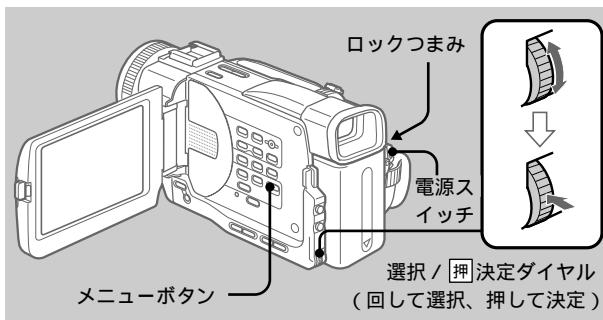
**お好みの画像からスライドショーを始める**

手順2の前にメモリー＋／－ボタンで最初の画像を選んでおく。

# 大事な画像を残す－プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

**ご注意**

- 画像にプロテクトがかかっていても“メモリースティック”をフォーマットすると“メモリースティック”の内容はすべて失われます。
  フォーマットする前に内容を確認してください。
- “メモリースティック”の誤消去防止つまみが「LOCK」になっているとプロテクトは実行できません。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。**

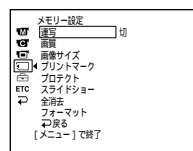
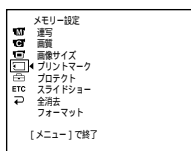
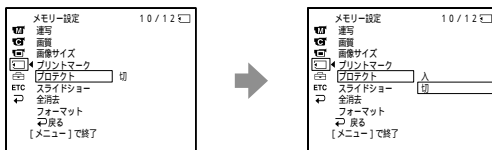
ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

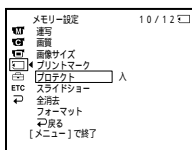
**❷ プロテクトする画像を再生する。（107ページ）**

**❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

**❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、[メモリー設定アイコン]を選び、押して決定する。**

“メモリースティック”を使う

次のページへつづく

**❺ 選択／押決定ダイヤルを回して、「プロテクト」を選び、押して決定する。**

**❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。**

表示されている画像にプロテクトがかかる。

**❼ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

プロテクトされた画像のファイル名に「⊶」マークがつきます。

### プロテクトを解除する

手順6で「切」を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。

# 画像を消す – 消去

**ご注意**

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。
- “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると消去は実行できません。

## 不要になった画像を消去する

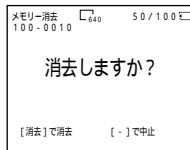
あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

**❷ 削除したい画像を再生する。（107ページ）**

**❸ メモリー消去ボタンを押す。**

「消去しますか？」の表示が出る。

**❹ もう1度メモリー消去ボタンを押す。**

画像が消去される。

### 画像の消去を中止する

手順4でメモリー−ボタンを押す。

### インデックス表示している画像を消す

メモリー+/−ボタンで▶マークを表示したい画像に移動してから、手順3と4を行ってください。

## すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

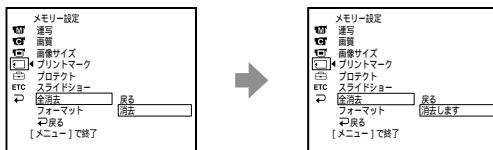
❷ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

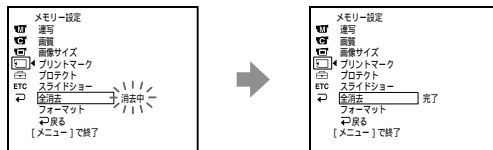
❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して、□を選び、押して決定する。**

❹ **選択／押 決定ダイヤルを回して、「全消去」を選び、押して決定する。**

**「消去中」と表示されているときは**
電源スイッチを切り換えたり、ボタン操作を行わないでください。

## ❺選択／押 決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示に変わる。

## ❻ 選択／押 決定ダイヤルで「消去します」を選び、押して決定する。

「消去中」と表示され、プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示される。

### 全消去を中止する

手順5で「戻る」を選び、選択／押 決定ダイヤルを押す。

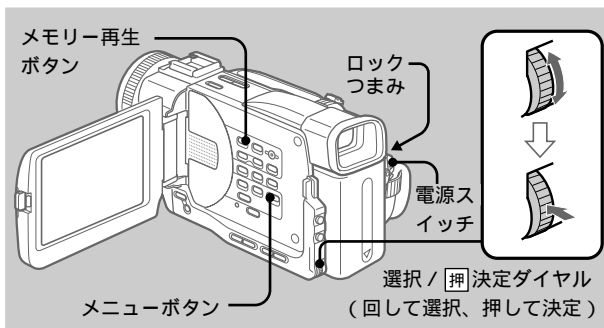
“メモリースティック”を使う

# プリントマークを付ける – プリントマーク

“ メモリースティック ”に撮影した画像の中からプリントしたい画像を直接指定することができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF (Digital Print Order Format) 規格に対応しています。

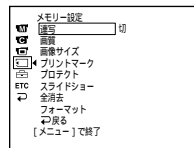
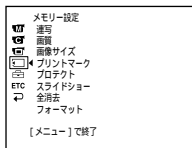
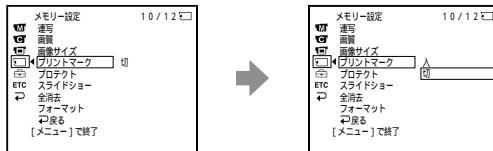
**ご注意**

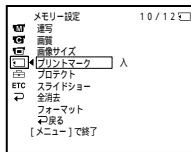
“ メモリースティック ”の誤消去防止つまみが「LOCK」になっているとプリントマークは実行できません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

1. **電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。**
   ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2. **プリントしたい画像を再生する。**（107ページ）

3. **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

4. **選択／押決定ダイヤルを回して、□を選び、押して決定する。**

## ❺ 選択／[押]決定ダイヤルを回して、「プリントマーク」を選び、押して決定する。

## ❻ 選択／[押]決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。

表示されている画像にプリントマーク 🖨✓ がつく。

## ❼ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

プリントマークを付けた画像のファイル名に「🖨✓」マークがつきます。

### プリントマークを解除する

手順6で「切」を選び、選択／[押]決定ダイヤルを押す。

# 使えるビデオカセット

## 使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8方式や、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta、DV、β方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。カセットメモリー付きカセットにはCM（Cassette Memory）マークが付いています。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトルなど）を書き込んだり、呼び出したりします。
カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの冒頭や途中に1度無記録部を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部を作らないために、下記の操作を行ってください。

> 撮影の途中でテープを出し入れしたり、VTRモードで再生したり、またはエディットサーチを使った場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、上記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。
カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に、機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。

## 著作権保護信号について

### 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限されることがあります。

### 記録するとき

**著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。**
このようなカセットを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています。録画できません。」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

---

**カセットのCM 4K マークについて**
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM16K マークが本体側面についています）まで対応しています。

**これらは商標です。**

Mini DV Digital Video Cassette
**ミニDVカセットのマークです。**

CM Cassette Memory
**カセットメモリーのマークです。**

## 音声多重記録テープを再生するとき

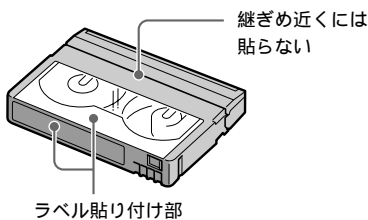
ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。（81ページ）

| メニューの「バイリンガル」の設定 | 再生される音声 | |
|---|---|---|
| | ステレオを記録したテープ | 二重音声を記録したテープ |
| 「切」にする | ステレオ音声 | 主音声＋副音声 |
| 「メイン」にする | 左音声 | 主音声 |
| 「サブ」にする | 右音声 | 副音声 |

本機では二重音声は記録できません。

## ミニDVカセットについてのご注意

### ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

### ミニDVカセットの使用後は

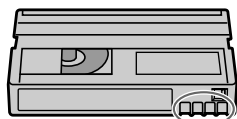
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

### カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れなおしてください。金メッキ端子にゴミ等が付着して機能が働かないことがあります。

### 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

# i.LINK（アイリンク）について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力/出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

## i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

**ご注意**

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

**ちょっと一言**

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

## i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。
S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）
転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

## 本機でのi.LINK操作は

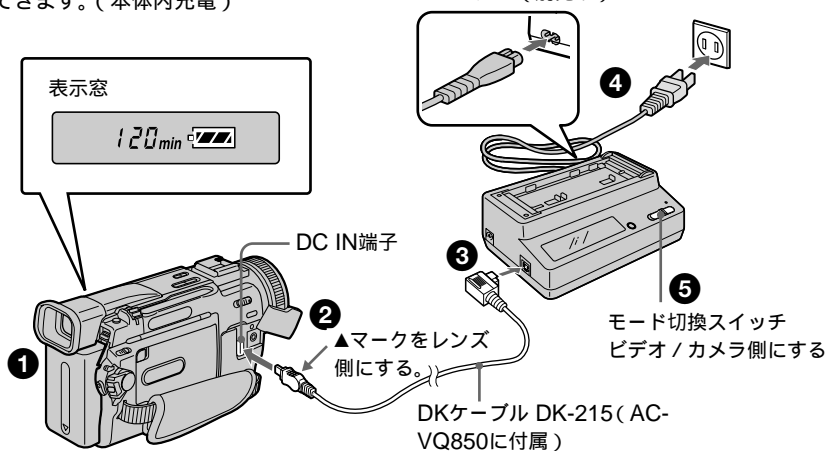
他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については51、66ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV）対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

## 必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

i.LINK、i は商標です。

# 本体に取り付けたバッテリーを充電する

本機に取り付けたバッテリーを充電することができます。（本体内充電）

**ご注意**

ACアダプター／チャージャーに接続したDKケーブルを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

**表示窓に表示されるバッテリー残量時間は**
ファインダーを使用したときの連続撮影時間の目安です。

**バッテリー残量を計算するまでは**
表示窓には“－－－ min ”が表示されます。

**本体内充電中は**
ACアダプター／チャージャーに取り付けたバッテリーは充電されません。

❶ **バッテリーを本機に取り付ける。（8ページ）**

❷ **DC IN端子カバーを開け、DKケーブルを▲マークをレンズ側にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❸ **DKケーブルをACアダプター／チャージャーにつなぐ。**

❹ **電源コードをコンセントにつなぐ。**

❺ **ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」にする。**

その他

**❻ 本機の電源スイッチを「切（充電）」にする。**

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。

充電が終わると、バッテリー残量表示が「 」になる**（実用充電）**。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える**（満充電）**。

**❼ DKケーブルを本機から取りはずす。**

バッテリーの充電が終わったら、DKケーブルを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

**充電時間**

| バッテリー | 満充電時間 | （実用充電時間） |
|---|---|---|
| NP-FM50 | 150 | （90） |
| NP-FM70 | 240 | （180） |
| NP-FM90 | 330 | （270） |
| NP-FM91 | 360 | （300） |

使い切ったバッテリーを充電したときの時間（約　分）。

# 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。134ページをご覧ください。

## 撮影中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。** | •電源スイッチが「カメラ」になっていない。 | •「カメラ」にする。 | 11 |
| | •テープが終わりになっている。 | •巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 | 10、22 |
| | •カセットが誤消去防止状態になっている。 | •そのカセットで撮るなら誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。 | 10 |
| | •テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。 | •カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 138 |
| **電源が途中で切れる。** | •撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。 | •1度電源スイッチを「切(充電)」にしてから、もう1度「カメラ」にする。 | – |
| | •バッテリーが消耗している。 | •充電されたバッテリーを取り付ける。 | – |
| **ファインダーの画像がはっきりしない。** | 視度調節が正しくない。 | 視度調節する。 | 13 |
| **手ぶれ補正が働かない。** | 手ぶれ補正スイッチが「切」になっている。 | メニューで「入」にする。 | 81 |
| **オートフォーカスが働かない。** | •手動ピント合わせになっている。 | •フォーカススイッチを「自動」にする。 | 38 |
| | •オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。 | •手動でピントを合わせて撮影する。 | 38 |
| **フェーダーボタンが働かない。** | デジタルエフェクト機能が働いている。 | 解除する。 | 33 |



次のページへつづく

## 撮影中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **ファインダーの画像が消えている。** | 液晶画面が開いている。 | 液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。 | 12 |
| **ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。** | 背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。 | ー | ー |
| **明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。** | スミア現象といい、故障ではありません。 | ー | ー |
| **画面に白点が出ることがある。** | スローシャッターやキャンドルモード、SUPER NIGHTSHOTモードのときに出る現象で、故障ではありません。 | ー | ー |
| **液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。** | カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。 | カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。 | 86 |
| **画像の色が正しくない。** | NIGHTSHOTが「入」になっている。 | 「切」にする。 | 16 |
| **画面が白すぎて画像が見えない。** | 明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。 | 「切」にする。<br>または暗いところで撮影する。 | 16 |
| **シャッター音が出ない。** | メニューの「お知らせブザー」が「切」になっている。 | 「お知らせブザー」を「メロディー」または「ノーマル」にする。 | 81 |
| **テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。** | ー | メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。 | 81 |

## 再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **ビデオ操作ボタンが働かない。** | 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 | 「ビデオ」にする。 | 20 |
| **ビデオ再生ボタンが働かない。** | テープが終わりになっている。 | テープを巻き戻す。 | 22 |
| **画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。** | ビデオヘッドが汚れている。 | 別売りのクリーニングカセットできれいにする。 | 138 |
| **音声が小さい。または聞こえない。** | •音量を最小にしている。<br>•メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。 | •音量を大きくする。<br>•「音量ミックス」を調節する。 | 21<br>73、81 |
| **撮影日を画面に出して日付サーチできない。** | •カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。<br>•メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。<br>•テープの冒頭や途中に無記録部分がある。 | •カセットメモリー付きカセットを使う。<br>•「入」にする。 | 45、122<br>81<br>45 |
| **タイトルサーチできない。** | •カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。<br>•メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。<br>•タイトルが入っていない。<br>•テープの冒頭や途中に無記録部分がある。 | •カセットメモリー付きカセットを使う。<br>•「入」にする。<br>•タイトルを入れる。 | 43、122<br>81<br>74<br>43 |
| **アフレコした音声が聞こえない。** | メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。 | 「音声ミックス」を調節する。 | 73、81 |
| **タイトルが出ない。** | メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。 | 「入」にする。 | 81 |



次のページへつづく

## 撮影中・再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **電源スイッチを「ビデオ」／「カメラ」にしても動作しない。** | •バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。<br>•ACアダプター／チャージャーのプラグがコンセントからはずれている。<br>•ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが「充電」になっている。 | •充電されたバッテリーを取り付ける。<br>•コンセントに差し込む。<br>•「ビデオ／カメラ」にする | 6、8<br>9<br>9 |
| **エンドサーチが働かない。** | •カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。<br>•カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。 | ー<br>ー | 19、22<br>19、22 |
| **エンドサーチが誤動作する。** | テープの冒頭や途中に無記録部分がある。 | ー | 19 |
| **バッテリーの消耗が早い。** | •周囲の温度が極端に低い。<br>•充電が不充分。<br>•バッテリーそのものの寿命。 | ー<br>•充分に充電する。<br>•新しいバッテリーに交換する。 | ー<br>6<br>8 |
| **カセットが取り出せない。** | •電源（バッテリーやACアダプター／チャージャー）がはずれている。<br>•バッテリーが消耗している。 | •電源をきちんと接続する。<br>•充電されたバッテリーを取り付ける。 | 8、9<br>6、8 |
| **◙や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。** | 結露している。 | カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 138 |
| **カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。** | カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。 | 金メッキ端子をクリーニングする。 | 123 |
| **テープ残量表示が出ない。** | メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。 | 常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。 | 81 |

## “ メモリースティック ”操作中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 操作を受け付けない。 | 電源スイッチが「メモリー」になっていない。 | 「メモリー」にする。 | 96 |
| 撮影ができない。 | • すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。<br>•“ メモリースティック ”が入っていない。<br>• フォーマットの形式の異なる“ メモリースティック ”を入れた。<br>•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | • 不要な画像を消去してから撮影する。<br>•“ メモリースティック ”を入れる。<br>• フォーマットするか、別の“ メモリースティック ”を入れる。<br>•「LOCK」を解除する。 | 117<br>91<br>85<br>90 |
| 画像を消去できない。 | • プロテクトされている。<br>•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | • プロテクトを解除する。<br>•「LOCK」を解除する。 | 115<br>90 |
| フォーマットが実行できない。 | “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | 「LOCK」を解除する。 | 90 |
| 全消去が実行できない。 | “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | 「LOCK」を解除する。 | 90 |
| プロテクトが実行できない。 | •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。<br>• プロテクト操作をしたい画像が表示されていない。 | •「LOCK」を解除する。<br>•メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。 | 90<br>107 |
| プリントマークが実行できない。 | •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。<br>• プリントマーク操作をしたい画像が表示されていない。 | •「LOCK」を解除する。<br>•メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。 | 90<br>107 |
| オートフォトコピーが実行できない。 | •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。<br>• バッテリーが消耗している。 | •「LOCK」を解除する。<br>• 充電されたバッテリーを取り付ける。またはACアダプター／チャージャーを使う。 | 90<br>8 、9 |



次のページへつづく

# 故障かな？と思ったら（つづき）

## その他

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **タイトルを入れられない。** | •カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 | •カセットメモリー付きカセットを使う。 | 74、122 |
| | •カセットのメモリーがいっぱいになっている。 | •ほかのタイトルを消去する。 | 76 |
| | •カセットが誤消去防止状態になっている。 | •誤消去防止ツマミを元に戻す。 | 10 |
| | •無記録部分にタイトルを入れようとしている。 | •録画された部分にタイトルを入れる。 | 74 |
| **カセットになまえを付けられない。** | •カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 | •カセットメモリー付きカセットを使う。 | 79、122 |
| | •カセットのメモリーがいっぱいになっている。 | •不要なタイトルを消去する。 | 76 |
| | •カセットが誤消去防止状態になっている。 | •誤消去防止ツマミを元に戻す。 | 10 |
| **ダビング編集中、i.LINKケーブル（DVケーブル）を正しく接続しているのにモニター画像が出ない。** | — | i.LINKケーブル（DVケーブル）を一度ぬいてからもう1度接続し直す。 | 51 |
| **デジタルプログラムエディットが働かない。** | •録画機側の入力切換ができていない。 | •接続を確認して録画機側の入力切換スイッチを設定し直す。 | 53 |
| | •ソニー以外のDV機器と接続している。 | •操作を「リモコン」にする。 | 53 |
| | •無記録部分にプログラム設定しようとしている。 | •録画された部分に設定し直す。 | 59 |
| | •本機と録画機の録画のタイミングが合わない。 | •タイミング補正をする。 | 57 |
| **付属のワイヤレスリモコンが働かない。** | •メニューの「リモコン」を「切」にしている。 | •「入」にする。 | 81 |
| | •リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 | •障害物を取り除く。 | — |
| | •リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 | •⊕極と⊖極を正しく入れる。 | 144 |
| | •乾電池そのものの寿命。 | •新しい乾電池に交換する。 | 144 |
| **外部入力しているのに液晶画面やTVに画像が映らない。** | メニューの「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」になっている。 | 「パネル」にする。 | 81 |

## その他

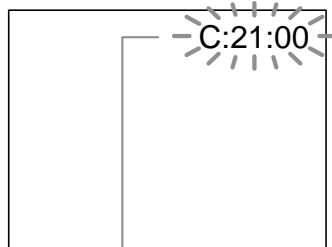
| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。** | •結露している。 | •カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 | 138 |
| | •本機に異常が発生している。 | •カセットを入れ直し、再度操作し直す。 | ー |
| **本体に取り付けたバッテリーを充電中、表示窓に何も表示が出ない。または表示が点滅する。** | •ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが、「充電」になっている。 | •「ビデオ／カメラ」側にする。 | 6 |
| | •バッテリーが正しく取り付けられていない。 | •正しく取り付ける。 | 8 |
| | •バッテリーが故障している。 | •テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 | ー |
| **本体に取り付けたバッテリーを充電できない。** | 本機の電源スイッチが「切(充電)」になっていない。 | 電源スイッチを「切(充電)」にする。 | 125 |
| **バッテリー充電中に充電ランプが点滅する。** | •バッテリーが正しく取り付けられていない。 | •正しく取り付ける。 | 8 |
| | •バッテリーが故障している。 | •テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 | ー |
| **電源が入っているのに操作できない** | — | バッテリーまたはACアダプター／チャージャーのDKケーブルを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACアダプター／チャージャーのDKケーブルを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、セルフタイマーボタン左のリセットボタンを先のとがったもので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。) | 9、142 |
| **電源スイッチを「ビデオ」または「切(充電)」にして本機を動かすと、本体内部で「カタカタ」という音がする。** | — | 本機の機能の一部にリニア機構を採用しているためです。故障ではありません。 | ー |

# 自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、ファインダー（または液晶画面）にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面またはファインダー

**自己診断表示**
**「C:□□:□□」：**
**お客様自身で正常に戻せる状態**
**「E:□□:□□」：**
**テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態**

| 表示 | 原因 | 対応の仕方 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| C:04:□□ | “インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。 | “インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。 | – |
| C:21:□□ | 結露している。 | カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 138 |
| C:22:□□ | ビデオヘッドが汚れている。 | 別売りのクリーニングカセットできれいにする。 | 138 |
| C:31:□□<br>C:32:□□ | お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。 | • カセットを入れ直し、再度操作し直す。<br>• 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 | –<br>– |
| E:61:□□<br>E:62:□□ | お客様自身で対応できない状態になっている。 | テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。<br>例：E:61:10 | – |

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

# 警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、（　）内のページにあります。

表示は実際には黄色です。

## 警告表示

**バッテリー残量に関する警告**
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
- バッテリー残量がない（6ページ）
  状況によっては、バッテリー残量が5分から10分ほどでも警告表示が点滅することがあります。

**テープ関連の警告**
遅い点滅
- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*（10ページ）
- テープが誤消去防止状態になっている*（10ページ）

速い点滅
- テープが終わっている*（10、22ページ）

**テープを取り出す必要がある警告**
遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている*（10ページ）

速い点滅
- 結露している*（138ページ）
- テープが終わっている*（10､22ページ）
- 自己診断表示が出ている*（134ページ）

**結露の警告***
速い点滅
- テープが結露している。
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（138ページ）

**画像プロテクトの警告**
遅い点滅
- 画像が消去できないようになっている*（115ページ）

**自己診断表示**（134ページ）

**“ メモリースティック ”関連の警告**
遅い点滅
- “ メモリースティック ”が入っていない*（91ページ）

速い点滅
- 認識できない“ メモリースティック ”が入っている*（90ページ）

**“ メモリースティック ”関連の警告**
速い点滅
- “ メモリースティック ”が壊れている*（90ページ）
- “ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない*（85ページ）
- 対応していないサイズの“ メモリースティック ”が入っている

**ファイル関連の警告**
遅い点滅
- ファイルが壊れている
- 扱えないファイル

その他

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

次のページへつづく

## お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（8ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（8ページ）
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください（6ページ）
- テープが終わっています*（10、22ページ）
- カセットを入れてください*（10ページ）
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（10ページ）
- メニューで日付　時刻をあわせてください（88ページ）
- ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（138ページ）
- 結露しています　カセットを取りだしてください*（138ページ）
（テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ダビングプロテクトされています　録画できません*（122ページ）
- 音声モードがちがいます　確認してください*（86ページ）
- 録画モードがちがいます　確認してください*（85ページ）
- テープを確認してください*（71ページ）
- “i. LINK”ケーブルをぬいてください（71ページ）
- カセットメモリー付きカセットを入れなおしてください*（122ページ）
- カセットメモリーがいっぱいです*（75ページ）
- メモリースティックを確認してください*（103ページ）
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです*（98ページ）
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください*（90ページ）
- ファイルがありません*（107ページ）
- メモリースティックを入れてください*（91ページ）
- メモリースティックエラー*（90ページ）
- メモリースティックフォーマットエラー*（85ページ）
- メモリースティックディレクトリエラー*（90ページ）

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

# 海外で使う

## 本機は外国でもお使いになれます

別売りのACアダプター／チャージャーAC-VQ850は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。トラベルコンバーターはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

### 海外のコンセントの種類

| 壁のコンセントの形状例 | 主に北米、南米など | 主にヨーロッパなど |
|---|---|---|
| 使用する変換アダプター | **不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。 | |

**再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。**

**日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）**

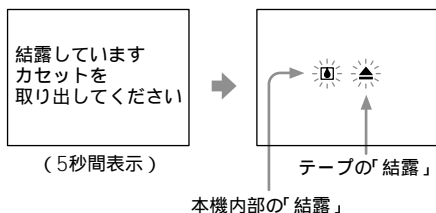
- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

## 時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「ETC 時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは81ページをご覧ください。

# お手入れ

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーや液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

## 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

## ヘッドをきれいにする

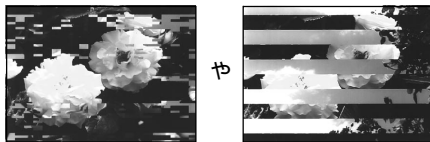
ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

**正常画**

**ビデオヘッドが汚れているときの画像**

や

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

---

**結露が起こりやすいのは**

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

**結露を起こりにくくするために**

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

**ビデオヘッドは**

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

### 液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

### バッテリーについて

- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。
- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから保管してください。
- バッテリーは湿度の低い、涼しい場所で保管してください。

### 内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し４か月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

#### 充電方法

本機を別売りのACアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

# 主な仕様

## システム

| | |
|---|---|
| 録画方式 | 回転2ヘッドヘリカルスキャン |
| 録音方式 | 回転2ヘッド<br>12ビット32kHz（ステレオ1、ステレオ2）<br>16ビット48kHz（ステレオ） |
| 映像信号 | NTSCカラー、EIA標準方式 |
| 使用可能カセット | Mini DVマークのついたミニDVカセット |
| テープ速度 | SP：約18.81mm/秒<br>LP：約12.56mm/秒 |
| 録画／再生時間 | SP：60分（DVM60使用時）<br>LP：90分（DVM60使用時） |
| 早送り、巻き戻し時間 | 2分30秒（DVM60使用時） |
| ファインダー | 電子ファインダー：カラー |
| 撮像素子 | 1/4型CCD固体撮像素子<br>約107万画素（動画時有効画素数：約69万画素、静止画時有効画素数：約100万画素） |
| ズームレンズ | カールツァイス<br>10倍（光学）、120倍（デジタル）<br>f=4.2～42mm<br>（35mmカメラ換算では<br>カメラモード時：48～480mm、<br>メモリーモード時：40～400mm）<br>F1.8～2.2<br>フィルター径37mm |
| 色温度切り換え | 自動追尾／HOLDホールド、屋内（3200K）、屋外（5800K） |
| 最低被写体照度 | 15ルクス（F1.8）<br>0ルクス（NIGHTSHOT時） |

## 入・出力端子

| | |
|---|---|
| S1映像端子 | 入力／出力自動切り換え<br>Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡<br>C出力　0.286Vp-p 75Ω不平衡 |
| 映像／音声端子 | AVミニジャック<br>入力／出力自動切り換え<br>映像：1 Vp-p　75 Ω不平衡、同期負<br>音声：327mV（47kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2kΩ<br>入力インピーダンス<br>47kΩ以上 |
| ヘッドホン端子 | ステレオミニジャック（Ø3.5） |
| デジタル I/O／LANC端子 | 特殊ミニミニジャック（Ø2.5） |
| マイク入力端子 | ステレオミニジャック（Ø3.5） |
| i DV入力／出力端子 | i.LINK（IEEE1394．4ピン特殊コネクター） |

## 液晶画面

| | |
|---|---|
| 画面サイズ | 3.5型 |
| 総ドット数 | 246,400ドット<br>横1120×縦220 |

## 電源部、その他

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | バッテリー端子入力7.2V<br>DC端子入力8.4V |
| 消費電力（バッテリー使用時） | 3.7W<br>（ファインダー使用時）<br>4.5W<br>（液晶画面使用時、明るさ標準） |
| 動作温度 | 0℃～+40℃ |
| 保存温度 | –20℃～+60℃ |
| 外形寸法（最大突起部を除く） | 71 × 93 × 170 mm<br>（幅×高さ×奥行き） |
| 本体質量 | 約 680g（本体のみ） |
| 撮影時総質量* | 約 780g<br>* バッテリーNP-FM50、テープ（DVM60）、レンズキャップ含む。 |
| 付属品 | レンズキャップ（1）<br>レンズフード（1）<br>ワイヤレスリモコン（1）<br>単3形乾電池（リモコン用）（2）<br>AV接続ケーブル（1）<br>撮り方ビデオ（1）<br>取扱説明書（1）<br>安全のために（1）<br>保証書（1）<br>ハンディカム カスタマーご登録のお勧め（1）<br>カスタマーご登録ハガキ（1）<br>カスタマーご登録 CD-ROM（1） |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

**それでも具合の悪いときは**

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

# 各部のなまえ

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

## 本体

検索する

# 各部のなまえ（つづき）

**メモリー再生ボタン**（107ページ）

**メモリー＋／－ボタン**（100、107ページ）

**スピーカー**

**インテリジェントアクセサリーシュー**（71ページ）

**液晶画面**

**液晶画面OPENボタン**（11ページ）

**画面表示ボタン**（21ページ）

**デジタルエフェクトボタン**（33、40ページ）

**再生ズームボタン**（41、112ページ）

**リセットボタン**（133ページ）

**セルフタイマーボタン**（18、26、99ページ）

**メモリーインデックスボタン**（108ページ）

**視度調節つまみ**（13ページ）

**メモリー消去ボタン**（117ページ）

**メモリーミックスボタン**（**100ページ**）

**プログラムAEボタン**（36ページ）

**明るさボタン**（37ページ）

**選択／押決定ダイヤル**（28ページ）

**エンドサーチボタン**（19ページ）

**メニューボタン**（28、81ページ）

**データコードボタン**（21ページ）

**タイトルボタン**（74、77ページ）

---

**この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。**

ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

Intelligent Accessory Shoe

**インテリジェントアクセサリーシューについて**

- 別売りの専用マイクやビデオライトなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリーの電源の入／切ができます。
（お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。）
- 取り付けたアクセサリーがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリーを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリーを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

**デジタル** I/O／**（リモート）マーク について**

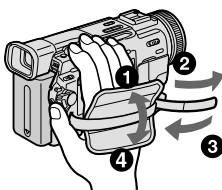
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

**ヘッドホンを使うと**

スピーカーから音は出ません。

**別売りの外部マイクを使う場合**

マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

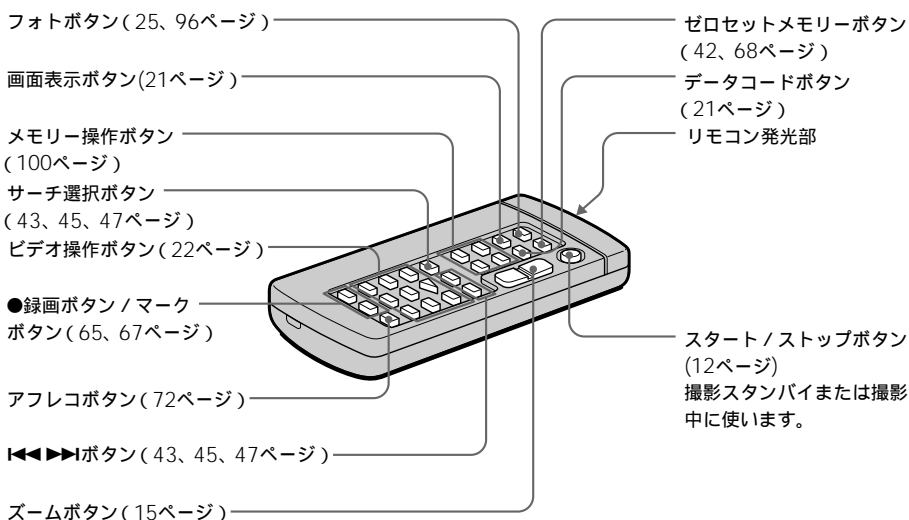
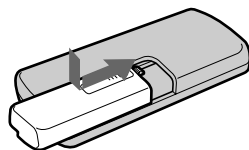
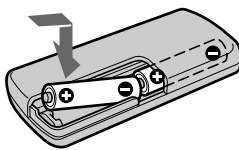
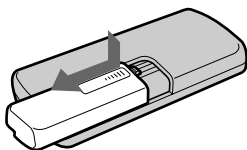
**グリップベルトのしめ方**

グリップベルトはしっかりとしめてください。

# 各部のなまえ（つづき）

## ワイヤレスリモコン

### 電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。

---

**リモコンについて**

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

## ファインダーと液晶画面の表示

**カセットメモリー表示**（15、122ページ）

**バッテリー残量表示**（15ページ）

**ズーム表示**（15ページ）／**明るさ表示**（37ページ）／**データファイル名表示**（90ページ）

**デジタルエフェクト表示**（33ページ）／**メモリーミックス表示**（100ページ）／**フェーダー表示**（30ページ）

**ワイドTV表示**（29ページ）

**ピクチャーエフェクト表示**（32ページ）

**データコード表示**（21ページ）

**液晶画面明るさ調節表示**（13ページ）／**音量調節表示**（21ページ）／**日付表示**（15ページ）

**プログラムAEモード表示**（35ページ）

**逆光補正表示**（16ページ）

**手ぶれ補正「切」表示**（83ページ）

**手動フォーカス表示**（38ページ）

**録画モード表示**（15ページ）

**撮影スタンバイ／撮影中表示**（11ページ）／**テープ走行表示**（22ページ）／**画像サイズ表示**（93ページ）／**画質モード表示**（92ページ）

NIGHTSHOT表示（16ページ）

**警告表示**（135ページ）

**テープカウンター表示**（42ページ）／**タイムコード表示**（15ページ）／**自己診断表示**（134ページ）／**フォト撮影表示**（25ページ）／**ファイル数表示**（108ページ）

**テープ残量表示**（15ページ）／**メモリー再生表示**（108ページ）

**ゼロセットメモリー表示**（42ページ）

**エンドサーチ表示**（19ページ）

**音声モード表示**（86ページ）

**メモリーミックスファイル名表示**（100ページ）／**時刻表示**（15ページ）

**連写モード表示**（98ページ）

**フラッシュ充電完了表示**
別売りのビデオフラッシュ使用時に表示

**セルフタイマー表示**（18、99ページ）

120分 SP スタンバイ 0:12:34
12分
スチル
ゼロセット
ワイドTV
メモリー
ネガアート
エンドサーチ
オート
60 AWB
F11
16BIT
100-0001

## 表示窓の表示

**検索する**

# 主な機能ガイド

### 明るさが気になるときの機能[撮影中]

| | | |
|---|---|---|
| あたりが真っ暗なとき | NIGHTSHOT | 16ページ |
| ろうそく程度の明かりしかないとき | キャンドル | 35ページ |
| 花火大会や夕暮れ、夜景を撮るとき | サンセット＆ムーン | 35ページ |
| 逆光（被写体の背後に光源がある）のとき | 逆光補正 | 16ページ |
| 結婚式・舞台など、一部分が明るいとき | スポットライト | 35ページ |
| スキー場、海岸などとても明るいとき | ビーチ＆スキー | 35ページ |

### インパクトある画像を作るための機能[撮影中]

| | | |
|---|---|---|
| 場面転換する | フェードイン・フェードアウト | 30ページ |
| 静止画を撮りたい | テープフォト／メモリーフォト | 25、96ページ |
| 画像をデジタル処理したい | ピクチャーエフェクト／デジタルエフェクト | 32、33ページ |
| 被写体を引き立てたい | ソフトポートレート | 35ページ |
| タイトルを入れたい | タイトル機能 | 74ページ |

### さりげなく自然な画像にするための機能[撮影中]

| | | |
|---|---|---|
| ズーム時の画質低下を押さえたい | メニュー；デジタルズーム | 81ページ |
| 意図的にピントを合わせたい | 手動ピント合わせ | 38ページ |
| 遠くの被写体にピントを合わせたい | 風景 | 35ページ |
| ゴルフスイングなどの速さをとらえたい | スポーツレッスン | 35ページ |

### 撮影後の編集・お手持ちの機器との接続のための機能[撮影中]

| | | |
|---|---|---|
| ワイドテレビで見る予定のとき | ワイドTVモード | 29ページ |
| パソコンに静止画を取り込みたい | “ メモリースティック ” | 90ページ |

### 撮影し終わったテープで行う機能 [再生中]

| | | |
|---|---|---|
| 撮影した画像にデジタル処理したい | ピクチャーエフェクト／デジタルエフェクト | 39、40ページ |
| 撮影した日時を確認する | データコード | 21ページ |
| 見たい場面にすばやく戻す | ゼロセットメモリー | 42ページ |
| タイトルの入った場面を探す | タイトルサーチ | 43ページ |
| 静止画の場面を探す | フォトサーチ | 47ページ |
| 静止画だけ次々見る | フォトスキャン | 49ページ |
| モノラル音声、副音声で聞く | メニュー：バイリンガル | 81ページ |
| コードレス再生したい | SUPER LASER AVLINK | 24ページ |
| 拡大して見る | 再生ズーム／メモリー再生ズーム | 41、112ページ |

# 索引



検索する

## カスタマー登録のご案内

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「ハンディカム カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

**カスタマー登録に関する問い合わせ**
**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
**電話：　03-3584-6651**
**受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時**
**（ただし、年末、年始、祝日を除く）**

## お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ **デジタルイメージングカスタマーサポート**

デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。

**http://www.sony.co.jp/support-di/**

■ **テクニカルインフォメーションセンター**

本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談窓口です。

**電話：　0564-62-4979**
**受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時**
**（ただし、年末、年始、祝日を除く）**

**D-Imaging World (デジタルイメージングワールド)**
ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく使っていただくためのホームページです。
**http://www.sony.co.jp/di-world/**

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ　●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）　●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311
●Fax：0466-31-2595　受付時間： 月～金 9:00～20:00、 土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Japan